

別 紙

# 第1次日置市総合計画

(計画期間2006～2015)

## 基本理念

「地理的特性と歴史や自然との調和を生かした

ふれあいあふれる健やかな都市づくり」

平成18年4月

鹿児島県日置市

目 次

第 1 編 総 論

第 1 章 計画策定の考え方	1
第 1 節 計画策定の趣旨	1
第 2 節 計画策定の期間と構成	1
第 3 節 日置市総合計画の体系	3
第 2 章 日置市を取り巻く情勢	4
第 1 節 時代の動き	4
第 2 節 国・県及び県内広域計画に見る将来像	6
第 3 節 地域別座談会等で出された課題等	7

第 2 編 基本構想

第 1 章 市政の展開方向	15
第 1 節 日置市の特性	15
第 2 節 日置市の土地利用	16
第 3 節 主要指標の見通し	18
第 4 節 日置市の基本理念	20
第 2 章 日置市の将来像	21
第 1 節 豊かな自然環境を生かしたふれあいと安らぎのある 健やかなまちづくり	21
第 2 節 地理的特性を生かした魅力あるまちづくり	21
第 3 節 古のロマンが織りなす歴史と伝統、風土を生かした 教育・文化のまちづくり	21
第 4 節 地域資源の持つ可能性を生かした個性ある産業振興の まちづくり	21

第 3 編 基本計画

第 1 章 分野別基本方向	22
第 1 節 社会基盤	22
第 2 節 生活環境	26

第3節	産業経済	33
第4節	保健医療福祉	41
第5節	教育文化	47
第6節	住民自治	53
第7節	行財政	55
第2章	地域別振興方向	58
第1節	東市来地域	58
第2章	伊集院地域	59
第3章	日吉地域	60
第4章	吹上地域	61
第3章	日置市創生プロジェクト	62
第1節	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト	62
第2節	食と農の創造拠点整備プロジェクト	64
第3節	史と景と文化のまちづくりプロジェクト	66
第4節	いきいきすこやか拠点整備プロジェクト	68
第5節	情報化タウン推進プロジェクト	70
第6節	環境にやさしいまち推進プロジェクト	72

# 第1編 総論

## 第1章 計画策定の考え方

### 第1節 計画策定の趣旨

「日置市」は、平成17年5月1日、旧東市来町、旧伊集院町、旧日吉町及び旧吹上町の四つの町が合併して、新しく市として誕生しました。

この計画は、日置市として初めて策定する総合計画で、地方自治法の本旨に基づき、地域の総合的かつ計画的な行政運営を展開するための指針として策定するものです。

ここで定める基本構想は、旧4町の歴史や文化とこれまでの発展の成果を継承しながら、新しい日置市の都市像、概ね平成27年度末における「目指すべき日置市の姿」を明らかにし、市政を進めていく上で最も重要な計画と位置付け、それを実現するために市民と行政が協働して取り組むまちづくりの基本的な方針を示すものです。

計画の策定に当たっては、変革の時代の社会情勢や市民ニーズを的確に把握しながら将来を展望し、21世紀初頭のまちづくりの指針として相応しい計画を策定することが重要になります。

このことに留意しながら、より豊かな市民生活を実現し、次の世代に誇れる都市づくりを目指して、その基本方針となる総合計画を策定します。

計画の名称は、「第1次日置市総合計画」とし、日置中央合併協議会が策定した「日置市まちづくり計画」を踏まえて策定するものとします。

### 第2節 総合計画の期間と構成

#### 1 計画期間

第1次日置市総合計画の計画期間は、平成18年度から平成27年度までとします。

#### 2 計画の構成

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」をもって構成します。

##### (1) 基本構想

基本構想は、日置市が21世紀初頭に目指す総合的かつ計画的な都市づくりの基本理念を示すものであり、将来のあるべき都市像及びこれを達成するために必要な施策の大綱を明らかにするものとします。計画期間については、日置市まちづくり計画が10年間としていることや、急速に変化する社会経済情勢に対

応していくため、平成18年度（2006年）を初年度とし、平成27年度（2015年）を目標年度とする10年間とします。

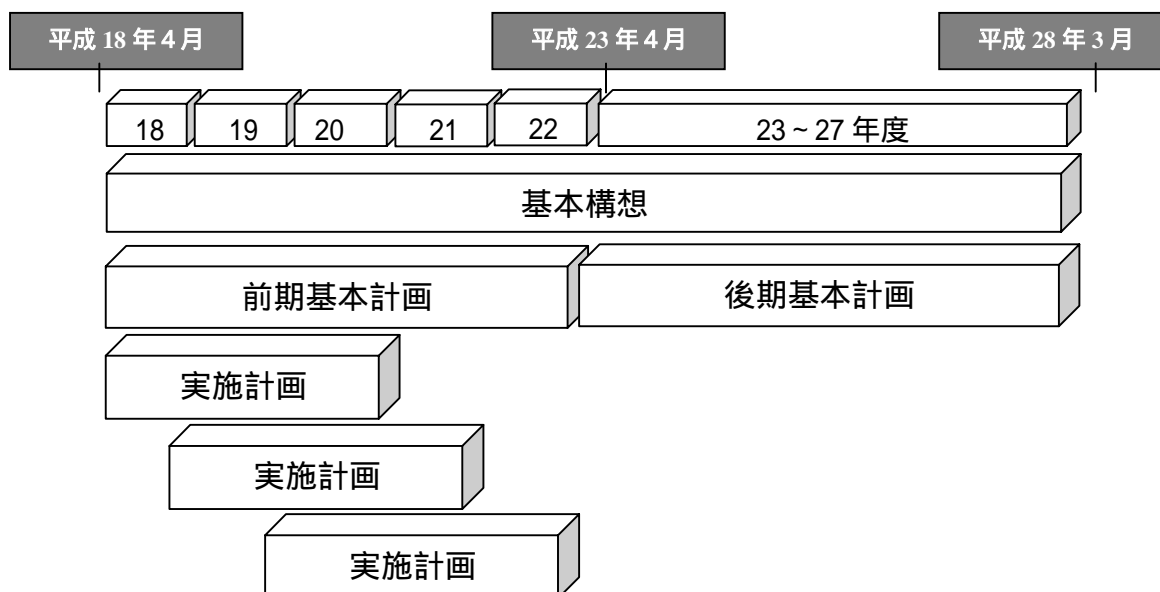
## (2) 基本計画

基本計画は、基本構想で定めた施策の大綱を実現するための基本的施策を体系的に明らかにするものとします。また、基本構想を踏まえ、社会経済情勢の変化に対応し、より実効性の高い計画にするため、10年間の計画期間を前期と後期に分け、前期の目標年度を平成22年度、後期の目標年度を平成27年度とします。

## (3) 実施計画

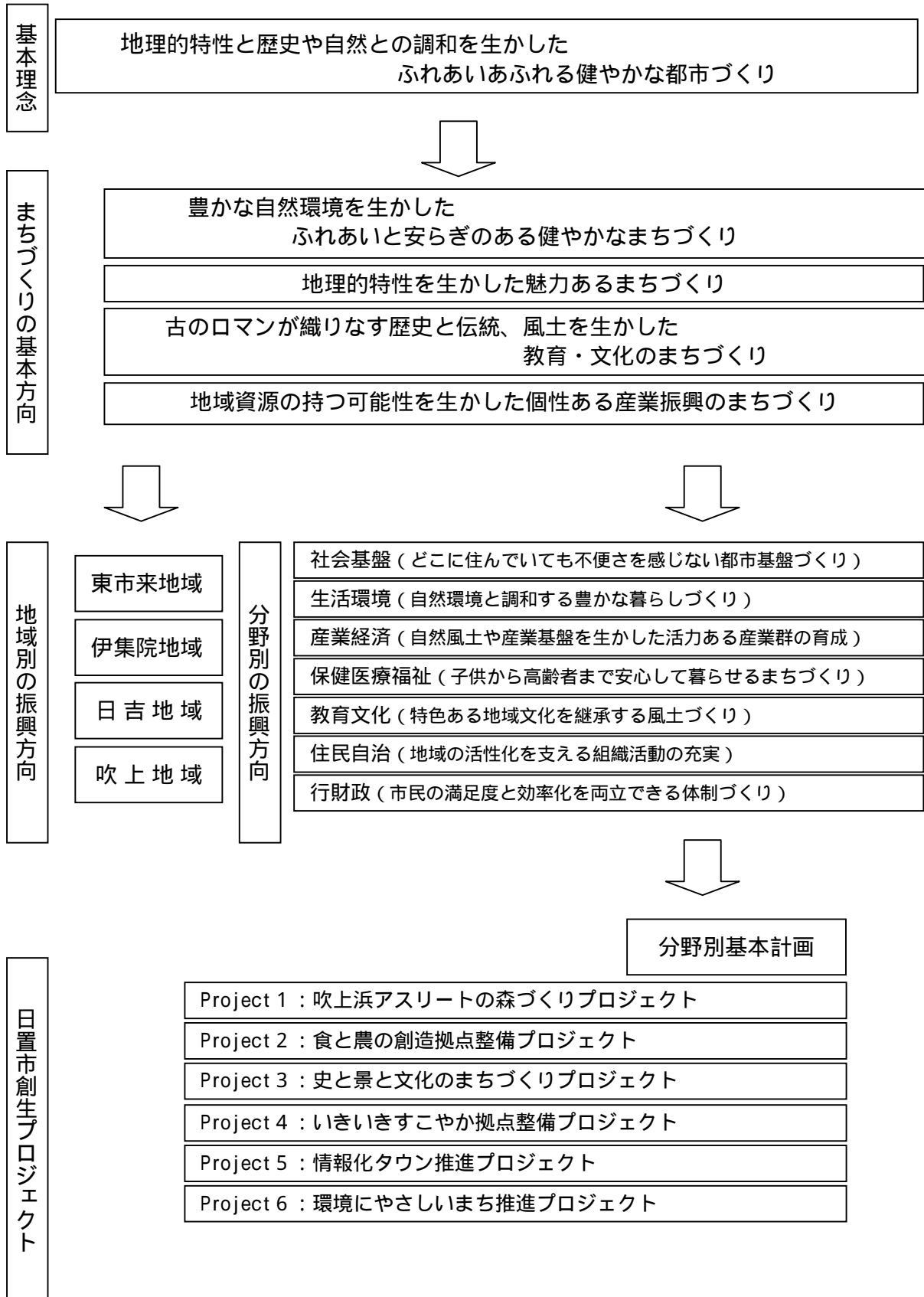
実施計画は、基本計画に掲げる基本的な施策を具体的に実施するために、年度別、体系別に定めるものとします。実施計画に掲げる事業は、社会経済情勢や行財政制度の変化に対応した十分な見直しを行い策定し、毎年作成する予算編成の根拠となる計画とします。また、実現性を確保しなければならないものであることから計画期間は3年間とし、これを毎年度見直すローリング方式とします。

### 計画期間



### 第3節 日置市総合計画の体系

【日置市総合計画の体系図】



## 第2章 日置市を取り巻く情勢

### 第1節 時代の動き

わが国の社会情勢は、急速に進展する少子高齢化をはじめ、混迷を続ける経済状況など、多くの課題を抱えながら大きく変動しています。

日置市発足後、最初のまちづくりを構想するにあたっては、時代の潮流を計画全体を通じて横断的な視点でとらえ、これに積極的かつ的確に対応していくことが求められています。

#### 1 少子高齢化・人口減少社会の到来

わが国の総人口は、平成17年（2005年）をピークに減少に転じて、平成26年（2014年）には65歳以上人口の割合が25%を超え、超高齢化社会を迎えます。

一方で、女性の社会進出や社会経済の先行き不安などにより出生率の低下による少子化が依然として続くと予想されます。

こうした人口構造の変化は、様々な分野で新たなサービス、需要の増加と多様化をもたらすと同時に、社会保障の分野では、行政と市民に新たな負担を求めるなど、社会経済や市民生活に大きな変化をもたらすことが予想されています。

このため、若い世代が安心して子供を産み育てられる環境づくりや若者が定住できる魅力あるまちづくり、さらには高齢者の社会参加や余暇活動、就業機会の拡大などの生きがい対策、健康づくり・予防対策など、すべての人が安心して暮らせる福祉の充実、生活環境の整備がこれまで以上に必要となります。

#### 2 価値観や生活様式の多様化

国全体が成熟した社会を迎えているといわれる中、市民の意識や価値観はこれまでの経済的な豊かさを求めることから、心の豊かさを重視する方向へ変化してきており、社会・経済の制度や仕組みも画一的、横並び志向から、自主性や自立性を高める方向に見直しが進められています。

また、男女が性別による固定概念からくる役割分担の意識にとらわれず、対等な立場で社会のあらゆる分野に参画し、ともに責任を担おうとする男女共同参画という考え方が浸透しつつあります。

#### 3 高度情報化の進展

急速な高度情報化の進展は、個人の生活や企業活動、都市機能、行政サービスなど、あらゆる分野に大きな影響を及ぼしています。

これまで、大都市からの距離が遠いことや人口の集積度が低いことなど、なか



なか克服できない不利な条件を抱えていた地域社会にも、国内に限らず地球的な規模で、さまざまな情報へアクセスできることから地域間の格差が解消されつつあります。

#### 4 環境問題への配慮

我が国では、急速な経済発展により国民生活は大きく向上した反面、大気汚染や水質汚濁等による自然環境の破壊が起こり、近年では、ダイオキシンやアスベスト等の問題も取りざたされています。更には、地球温暖化や酸性雨、オゾン層の破壊の問題など、地球環境問題にまで発展しています。

日置市においても、この環境問題は重要な課題であり、「環境に配慮し、自然と共生する」といった発想に立ったまちづくりが求められています。

#### 5 地方分権社会への対応

国と地方の役割を明確にし、国と地方が対等の立場で分権型社会を構築することが進められている中、今後、一層地域の自主性が求められてきます。

行政においては、国や地方の財政の悪化が懸念される中において、いかに公正で透明性の高い、簡素で効率的な行政を推進するかが大きな課題となっており、政策形成能力の向上や説明責任、情報公開などが強く求められています。

一方、市民においても、市政の主体である市民自らが、自己の権利と責任において、地域の問題に取り組んでいくことが求められています。

このような認識のもとに、将来においても住民の多様なニーズに的確に応え、行政サービスを充実させ豊かな市を形成していくために、行政や市民が相互に理解し、それぞれの責任の中で役割分担を行い、協働する社会の構築が求められています。

#### 6 国際化への対応

国際化の進展に伴い、市民の国際感覚や意識を高め、外国の人々との相互理解を深めることが強く求められています。このような状況の中で、グローバルな視野を持った人材を育成しながら意識啓発に取り組み、在住外国人との交流を通して、市民一人ひとりが異なる文化や価値観への理解を深めることが必要となっています。

## 第2節 国・県及び県内広域計画に見る将来像

総合計画に関連する計画には、旧4町が策定した計画のほか、国の計画や鹿児島県の計画、合併に伴って策定した「日置市まちづくり計画」等があります。

総合計画を策定していく上で、これらの関連計画との整合を図っていく必要があります。

### 日置市総合計画と関連計画等

- 1 『全国総合開発計画』  
「21世紀の国土のグランドデザイン - 地域の自立の促進と美しい国土の創造」
- 2 『21世紀新かごしま総合計画』  
「共生ネットワークで築く 心豊かで活力あふれる かごしま」  
第2期実施計画
- 3 『薩摩半島地域振興計画』  
「人・自然・産業いきいき、交流・リゾート薩摩半島」
- 4 『鹿児島広域市町村圏第4次実施計画』  
「人・まち・自然が共生し 交流と連携で躍動する 南九州の拠点圏域」

### 第3節 地域別座談会等で出された課題等

#### 住民説明会で出された意見等

基本理念に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画では地理的優位性というふうになっている。個人的にも同感する。それを利用することは非常に良いことであると思う。</li> <li>・ 総合計画の案として基本理念に新幹線により利便性が向上していると明記されているが、このようなことは明記できないのではないか。</li> <li>・ 吹上浜を一体的に活用した観光や事業をすべき。（各地域の資源を他の地域と結びつけて一体的な施策を）</li> <li>・ 日置市は将来的に鹿児島市を向いた取り組みをしていると思うが、その時に周辺部になる。</li> </ul>
基本計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業地域、商業地域などの地域割り振りを4地域に割り振ってはどうか。東市来地域は漁港があり港湾整備を行って、貿易港のようにしたり工業地域にしたりしていけばいいのでは。</li> <li>・ 15年先お金を生む事業がここに明記されているのか。</li> </ul>
社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東市来地域では湯之元地区はまとまっているが、その他の地区は開発されていない。</li> <li>・ 伊集院駅の北側出口はできないか。また、湯之元駅の北口も造って皆田地区の連絡道路の整備をお願いしたい。</li> <li>・ 25,000戸に光ケーブルを！モデル地区を作るのか。「街からアンテナが消える町」というのは市外に対してアピールになり、人口増加の効果もある。</li> <li>・ 合併により各地域との道路アクセスについても整備が必要となってくるのでは。</li> <li>・ 定住促進ということで、妙円寺団地の区画はまだたくさん残っているようだが、このようなことは基本計画には明記されないのか。</li> <li>・ 循環バスの活用といったことも盛り込まれているようだが、10年間の計画の中で最優先して計画を進めて欲しい。</li> <li>・ 道路交通において、西回りのアクセスはどうなっているか。</li> <li>・ 携帯電話が通じない区域が多い。災害（台風）時の緊急避難時の連絡がとれない。</li> <li>・ 国道270号線の歩道整備について。学校に行く子供たちが危ない。大人でも危ない。早く実現できないか。</li> <li>・ 広範囲になった市内の行き来をスムーズにするため、交通網の整備が大事。連絡を取り合うには時間短縮が大事だ。</li> <li>・ 地域別振興方向の市道の管理の優先順位は。</li> </ul>

<p>生 活 環 境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化過疎化で労働力が不足している。河川や市道の奉仕作業等草払いは人がいなくて大変だ。</li> <li>・ ごみ処理の問題であるが、コンテナ式に変更されると聞いた。今の方法は良いが、変更されると田舎は年寄りが多く、地域で一箇所で収集するということが、この地区は広いので遠くまで持っていくのは大変だ。</li> <li>・ 消防において消火栓が設置されているが、消火において消火栓だけでは限りがある。防火水槽の設置事業も必要では。</li> <li>・ 消費者問題の窓口設置をお願いしたい。</li> <li>・ 消防署の再編についてはどうなっていくのか。</li> <li>・ 防犯等について、最近物騒となってきたが、そのあたりの明記は。</li> <li>・ 公営住宅の建替えを検討して欲しい。</li> <li>・ 渚がやせていくこの状況でいいのか。</li> <li>・ 都市計画時に東市来地域の下水道の整備はできないか。</li> <li>・ 家畜糞尿の野積みやごみの不法投棄もあるが、地下水の安全性はどうなっているか。</li> <li>・ し尿処理で平成19年1月までで海洋投棄ができなくなるが、その対策は。</li> <li>・ 自主防災組織の育成の具体策の提示は。</li> <li>・ 吹上浜の荒廃対策はどうなっているか。</li> <li>・ 江口海浜公園海水浴場の安全対策を。</li> </ul>
<p>産 業 経 済</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業については、担い手農家や認定農家の育成を入れなければならないと思うが、検討して欲しい。</li> <li>・ 蚕業試験場の技術を利用した絹糸で、特区制度を取り入れ新たな産業を創出できないか。</li> <li>・ 作物のブランド化とあるが候補があるのか。検討したのか。</li> <li>・ 就業の場を確保すべく企業の誘致も是非お願いしたい。</li> <li>・ シルバー人材センターの今後の運営方法は。</li> <li>・ 少子化が進行し、農業後継者がいない。働く場の確保や環境整備を進めて欲しい。</li> <li>・ 県農業開発総合センターは、大きなパイプである。</li> <li>・ 農地の荒廃、特に山間部がひどい。</li> <li>・ 市の認証マークを作り、流通の促進を図る方策を。</li> <li>・ 農地の基盤整備はどうなっているか。</li> </ul>
<p>保 健 医 療</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急体制のある病院は日置市には無いのではないかと。そのあたりの計画はどの様になっているのか。</li> <li>・ 保健医療福祉の部門において、日置市の独自のものは無いのか。</li> <li>・ 少子化についての対応、解決策は。</li> <li>・ 市民病院を総合病院にして欲しいが、市としての方針を教えて欲しい。</li> <li>・ 大臣が出産費用をゼロにしようと言っていたが、産んでからの後を支援しないといけない。市から具体的な支援はないのか。</li> </ul>

福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉に精神も入れた方がよいのではないか。</li> <li>・ 公共施設への除細動器（AED）の設置を。</li> <li>・ 医療費抑制のために生涯学習と保健の連携が必要だ。</li> <li>・ 少子化対策に10万円補助の復活を。</li> </ul>
教育 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の中に韓国語のできる人はいない。</li> <li>・ 小学校で英会話を教えるような検討はしているのか。</li> <li>・ 新市において、家を建てる補助・子供の育成補助等について考えて欲しい。</li> <li>・ 人づくりとしての教育はどのようなこととなるか。</li> <li>・ 学区制度の見直しをしないと、人口減に歯止めが効かないのでは。</li> <li>・ 小・中学校の合併を考えているのか。</li> <li>・ 小学校が減ることが心配。人口減少につながる。企業誘致を考えて欲しい。</li> <li>・ 吹上に立派な図書館が完成する。県・市図書館との連携、館長の選任等どのような形態で運営されていくのか。</li> <li>・ 妙円寺詣りの意義を再確認し、参拝者への心遣いが重要では。</li> <li>・ 高校の学区制見直しは。</li> <li>・ 子ども会の日置市全体での大会の開催を。</li> </ul>
住民 自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民自治、自治会の再編とあるが将来的にいくつの自治会にするのか。また、交付金等が減らされると思うがどうなるのか。</li> <li>・ 合併したのに新市において、自治活動は昔と変わらない。他地域との交流の場がない。広報紙でしか3地域の情報が分からない。地域自治会の交流の場を。</li> <li>・ 地域の活性化、地域づくり、地域おこし（知恵の出し合い）は地区公民館が核となる。指導の先生を中心に地区公民館活動を継続拡充させてもらいたい。</li> <li>・ 吹上でやっていた集落振興計画を立てる考えはないか。</li> <li>・ 自治会の連絡協議会定例会の復活を。</li> <li>・ 平成18年4月実施に向けて自治会の再編に取り組むので支援を。</li> </ul>
行政 財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併特例債を全部使って計画するのか。</li> <li>・ 地図情報システムの整備は、消防へも情報を提供できるのか。また、証明書自動交付機についてはどうなるか。</li> <li>・ 小さな政府が流行である。行政改革を進めれば職員の問題がある。どうなっていくのか。</li> <li>・ 行政としては、お金を生む方向での投資を考えるべきである。今までが箱物を建設して、経費をかけているというようなことばかりである。</li> <li>・ 目安として人口10万人規模ということで地方行政が動いているとすれば、公共施設の統廃合などそういった視点から計画にもられているのか。</li> <li>・ 指定管理者制度の取り組みは怎么样了。</li> <li>・ 生活改善グループが利用する施設使用料の統一、軽減を。</li> <li>・ 女性問題に関する専門組織の設置を。</li> </ul>

人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口推計を見ると将来的に人口は増えていない。鹿児島市の60万都市に近いのであれば1,000や2,000人増えるべきだ。</li> <li>・ 人口を増やす努力をしていかななくてはならない。</li> <li>・ 将来推計人口を見ると伊集院地域以外は減少見込みである。(特に日吉・吹上地域)</li> </ul>
地域別振興方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図や絵により、どこの地域をどうするといったふうに表したものはいいのか。 (東市来地域)</li> <li>・ 東市来地域の振興方向にある「薩摩焼の里づくりの推進及び美山パーキングエリアの整備」とあるが、美山パーキングエリアをインターチェンジにできないか。</li> <li>・ 湯之元地区の再開発とは区画整理事業か。 (伊集院地域)</li> <li>・ 伊集院地域の振興計画の中に教育機関の誘致とあるが、このことについてはどのようなことか。</li> <li>・ 伊集院地域の内容の検討をして欲しい。 (日吉地域)</li> <li>・ 生涯学習をする施設が日吉地域にはない。学習情報センターの整備とあるが具体的に示して欲しい。</li> <li>・ 公園整備よりも子供の通学路整備を優先的に進めて欲しい。 (吹上地域)</li> <li>・ 重点事業の中に、田中城の保存も一考願いたい。</li> <li>・ 吹上地域の地域振興方策についてどうなっているか。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併して良かったこと、これから良くなることを回答願いたい。</li> <li>・ 事務的に合併したことで住民が面倒をするようでは行財政改革、合併効果につながらない。伊集院方式にこだわらず、効率的なやり方をすればよいのではないか。</li> <li>・ 道州制にからむ日置市の方向性をどう考えているか。</li> <li>・ 合併協議の中で3年間で見直すというものがあるが、地域の実情も尊重して進めて欲しい。</li> <li>・ マニフェストとの整合性はどうなっているか。</li> <li>・ 実施計画の優先順位をどうやって決めるのか。</li> <li>・ 旧町の振興があって市全体があるのではないか。</li> </ul>

地域審議会が出された意見等

<p>基本計画全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市独自の特徴ある政策は。</li> <li>・ 暮らしやすいまちづくりの基準等も視野に入れた取り組みも必要では。</li> <li>・ 質問事項を見ると要望ばかりだ。金がいらぬような施策を具体的に取り組むべきでは。</li> </ul>
<p>社会基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地区画整理事業等の計画はどうか。</li> <li>・ 駅周辺の整備はどうか。</li> <li>・ 吹上高校への通学生のこと踏まえ、湯之元、伊集院、伊作を基点とするバス路線を望む。</li> <li>・ 携帯電話不通話地域の取り組みとCATV事業について。</li> </ul>
<p>生活環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生ごみの堆肥化への取り組みはどうか。</li> <li>・ コンテナ方式の進捗状況はどうか。</li> <li>・ 火葬場は鹿児島北部を使う場合が多いが、今後はどうか。</li> <li>・ 消防水利等の整備はどうか。</li> <li>・ 公営住宅の建て替え事業だけでなく、新設も明記すべきではないか。</li> <li>・ 自然保護の観点からラムサール条約やナショナルトラスト運動の取り組みも必要では。</li> <li>・ 区画整理事業地内へのごみステーションの確保を。</li> <li>・ 特殊地下壕対策の内容について。</li> <li>・ 吹上浜については以前に比べ浜がやせてきている。これまでの海砂の採取はいつから行われ、どれだけ採取されたのか。平成17年の採取量と採取場所はどこか。採取に関する許可の流れは。採取による県や市町村への歳入はいくらか。資料として提出して欲しい。また、総合計画の記述に海砂採取の全面禁止を盛り込むべきだ。</li> <li>・ 海砂採取は沿岸部の採取から5000m沖合いに変わってきているようだ。それと港の沖出しの影響など、海岸に及ぼす影響があるのではないか。環境対策との連携のこともあり、市の計画に入れることが適切か迷う。</li> <li>・ 「全面禁止を要望する」などという表現にしてはどうか。</li> <li>・ この海砂採取については要望として検討してはどうか。</li> <li>・ 再生資源回収事業に関して、コンテナ方式が合併協議で進められていたが、来年度以降方向転換をされるようなことを聞く。政策転換を簡単にすると市民に不信感を与え、それ以外にも影響を及ぼすので慎重に対応して欲しい。</li> <li>・ 吹上浜の自然景観の保全について、海砂の採取はして欲しくない。</li> </ul>

産 業 経 済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妙円寺詣りや吹上浜、美山等の周遊化は。</li> <li>・ 東市来と吹上にある湯之元温泉の呼称はどうするか。</li> <li>・ 養浜の表現は適切か。</li> <li>・ 異業種交流懇話会について。</li> <li>・ 観光について一体的なPRやイベントへの補助は、今後どのように取り組まれるのか。</li> <li>・ シルバー人材センターの状況について。</li> </ul>
保 健 医 療 福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康の駅、まちの駅はどんな内容か。</li> <li>・ 子育て支援の具体的な取り組みは。</li> <li>・ 保育所の待機者がいるのか。</li> <li>・ 少子化に関する子育て支援センターなどの取り組みは。</li> <li>・ 介護施設を利用しているが、土日、職員数が不足するため送迎ができないと言われたことがある。自前で送迎すれば介護を受けられるが、何とか送迎してもらえないか。</li> </ul>
教 育 文 化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妙円寺詣り等の行事の進め方はどうか。</li> <li>・ 字や学区の変更はどうか。</li> <li>・ 山村留学・特認校制度について。</li> <li>・ 社会体育等の指導者の賃金は支払われているのか。</li> <li>・ 指導者はボランティアでよいのでは。</li> <li>・ 教員の部活動等への取り組みがない。</li> <li>・ 児童・生徒の良いところを伸ばしていくための競争をさせる必要がある。</li> <li>・ 妙円寺詣りの道が参勤交代に使われていた薩摩街道の記述をする必要があるのでは。</li> <li>・ 高等教育機関の立地についての考え方は。</li> <li>・ 適正な教育環境の整備は、学級の生徒数の見直しのことか。</li> </ul>
住 民 自 治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会再編の状況はどうか。</li> </ul>
人 口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来推計人口の計算方法は。</li> </ul>



<p>地域別振興方向</p>	<p>(東市来地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美山インターチェンジの状況と、県道バイパス・市道の関係はどうか。</li> </ul> <p>(日吉地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夕日が丘公園の整備について利用率や投資効果等、検証したのか。</li> <li>・ サイクリングロードの整備については、日吉地域内でも途中までで途切れているが、今後の計画は。</li> <li>・ 地域別振興方向で農業に関して畜産のことだけ記述してあるが、耕種農家も含めた総合的な農業の振興に修正すべきだ。</li> <li>・ 城之下の特産品販売所は土地の問題もあり、撤去しなければならない可能性があるため、地域別振興方向に「建設」という文言を挿入して欲しい。</li> <li>・ 市民病院については、地域別振興方向を尊重して欲しい。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吹上浜の自然を守り、計画の速やかな実現を望む。また周辺部への配慮を願う。</li> <li>・ リサイクルセンターの排煙が基準を超えていたことが報道されたようだが。</li> <li>・ 県の組織再編による警察管轄の変更による関係はどうか。</li> <li>・ 指定管理者制度の根拠法令は。</li> <li>・ 平成18年度予算の状況は。</li> <li>・ 住民説明会の参加者が少なかったが、そのことについてどうか。</li> </ul>

総合計画審議会が出された意見等

基本計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿児島市に隣接する地理的特性は大きなポイントである。これを活かした子育て支援策の充実など、実施計画に反映して欲しい。</li> </ul>
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公営住宅の整備やPFI事業のことが出ており、有効な手法であるので研究会等を設けて検討して欲しい。</li> </ul>
産業経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センターについて。</li> </ul>
教育文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の研修で、地元と連携するような取り組みをする研究を。</li> <li>・ スポーツ少年団等への活動助成を。</li> <li>・ 中学校の部活動の指導者確保を。</li> </ul>
住民自治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民自治の面で地域コミュニティの充実策を。</li> </ul>
行財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民参画を増やす工夫を。</li> </ul>
人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少社会に突入したというマスコミ報道がある中で、2007年から減少するという記述は見直すべきではないか。</li> <li>・ 定住人口の増加策を。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民説明会の周知方法は。</li> <li>・ 説明会で出された意見・要望等の取り扱いは。</li> <li>・ 今後の審議会等の進め方は。</li> <li>・ 実施計画を策定する中で、旧吹上町で取り組んでいた地域振興計画策定の取り組みは。</li> <li>・ 議員さん方はそれぞれの地域、現場を見て審議をして欲しい。</li> <li>・ 実施計画についての資料の提出を。</li> <li>・ 審議会のあり方について。</li> </ul>

## 第 2 編 基本構想

## 第1章 市政の展開方向

### 第1節 日置市の特性

#### 1 地域資源

##### (1) 日本三大砂丘「吹上浜」

東シナ海に面した西海岸には、「日本の渚百選」にも選ばれた白砂青松の日本三大砂丘「吹上浜」が南北に続いています。この吹上浜では、年間を通して潮干狩りが楽しめるほか、釣りや海水浴、サーフィンなどマリンレジャーのメッカとなっており、本市における最大の観光資源として位置づけられます。

##### (2) 多彩かつ豊かな歴史・文化資源

本市は、多彩で豊かな歴史と文化資源に恵まれています。

東市来地域	薩摩焼	400年の歴史を誇る鹿児島県を代表する伝統工芸品です。
伊集院地域	妙円寺詣り	鹿児島の三大行事のひとつで、毎年10万人の参加者が訪れます。
日吉地域	せつぺとべ	白装束に身を包んだ若い衆が田んぼの中で飛び跳ね、泥まみれになりながら、豊作を祈願する祭りです。
吹上地域	流鏝馬	450年程前、島津日新公の戦勝祈願が始まりとされています。

##### (3) 古くからの温泉街や新たな温泉施設

「湯之元温泉」や「吹上温泉」は、古くから温泉地として人々の交流が図られており、現在も日帰りや滞在型観光の大きな資源となっています。また、近年新たな温泉施設が整備され、このような温泉資源を活用した観光・交流の拡大が期待されます。

#### 2 立地条件

##### (1) 県都鹿児島市に隣接する地理的優位性

本市は、その東側で県都鹿児島市と隣接し、ベッドタウンとして定住が進んでおり、今後も立地を生かした定住促進や企業誘致が図られる可能性を秘めています。

## (2) 人・物の交流に優れた交通アクセス

本市を東西に走るJR鹿児島本線、部分開業した九州新幹線を始めとして、南九州西回り自動車道のインターチェンジ(IC)を有しているほか、国道3号、国道270号を基幹道路として、これら基幹道路に県道や市道が接続しているなど人・物の交流に優れた条件を備えています。

## 3 近年の動向

### (1) 本県農業の総合的開発拠点「県農業開発総合センター」

本県の「21世紀新かごしま総合計画」における主要プロジェクトとして、吹上地域等において「県農業開発総合センター」の整備が進められています。これにより農業大学校や農業関係試験場（耕種部門）が同センターに再編整備され、鹿児島県の農業の総合的な拠点として位置づけられます。

今後、農業技術の開発や担い手の育成など、基幹産業である農業振興に大きく貢献するものと期待されます。

## 第2節 日置市の土地利用

### 土地利用方針

本市の土地利用は、自然・社会・経済・文化などの諸条件に十分配慮し、市内の調和を図りながら、長期的展望に基づき、適正かつ合理的に行うものとします。

#### 1 都市地域

都市地域は、都市計画法により本市の行政区域面積の約31.1%を占める7,862haが都市計画区域に指定されています。

この地域については、土地区画整理事業などの導入による良好な都市環境の整備を進め、機能的な都市基盤の形成を図ります。

#### 2 農業地域

農業地域は、農業振興地域の整備に関する法律(農振法)により本市の行政区域面積の約83.1%を占める21,020haが農業振興地域に指定されています。

この地域については、土地改良、農用地造成等による農業生産基盤の整備を進め、効率的な利用と生産性の向上を図ります。

#### 3 森林地域

森林地域は、森林法により本市の行政区域面積の約58.6%を占める14,816haが森林地域に指定されています。

この地域については、森林のもつ多面的な機能を総合的に発揮できるよう、必要な森林の確保と整備を図ります。

#### 4 自然公園地域

自然公園地域は、自然公園法により本市の行政区域面積の約5.7%を占める1,430haが自然公園区域に指定されています。

自然公園は優れた自然の風景地であり、その利用を通じて市民の保健、休養に役立つものであることから、適正な利用を進めます。

### 日置市の土地利用区分

	【都市計画法】		【農振法】		【森林法】			【自然公園法】			行政区域 面積
	都市地域		農業地域		森林地域			自然公園地域			
	都市計画 区域	うち 市街地 区域等 (用途地域)	農業振興 地域	うち 農用地区域	森林地域	うち国有林	うち民有林	自然公園 区域	うち 特別地域 (第1～ 第3種)	うち 普通地域	
面積(ha)	7,862	689	21,020	3,074	14,816	1,975	12,855	1,430	690	740	25,302
構成比	31.1%	-	83.1%	-	58.6%	-	-	5.7%	-	-	

資料) 土地対策の概要(平成16年10月、数値は平成16年3月31日現在)

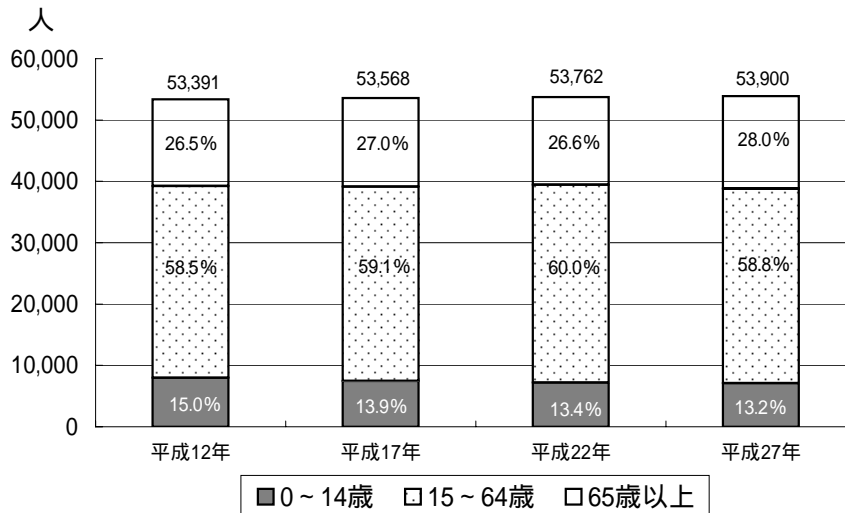
注) 指定地域の重複があるため、構成比の合計は100%にならない。

### 第3節 主要指数の見通し

本市の将来推計人口は僅かずつ増加することが予測されます。この増加傾向は、その後も続き、平成27年には53,900人となり、平成12年と比較すると、509人(約1%)増加すると予測されます。

年齢階層別の構成比をみると、年少人口(0~14歳)は下降、生産年齢人口(15歳~64歳)はほぼ横ばい、老年人口(65歳以上)は緩やかに上昇しています。

#### 本市の人口の将来予測



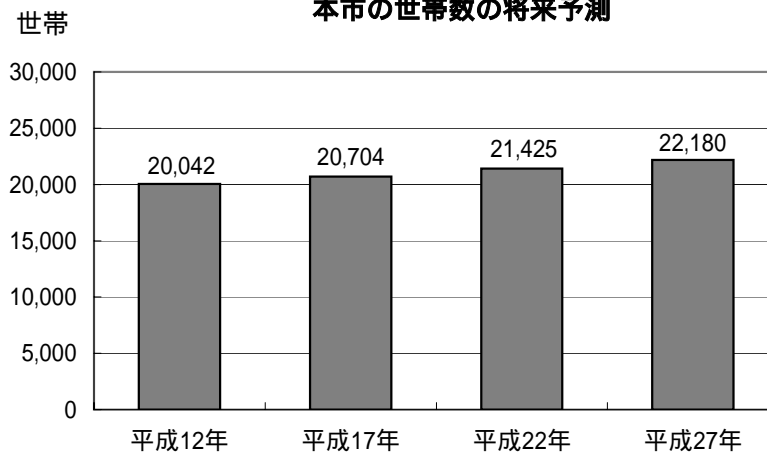
注) 平成12年は国勢調査、平成17年以降は人口問題研究所の簡易人口推計システムによる推計値で、小数点以下を四捨五入するため、構成比の合計は100%にならないこともある。

参考) 平成17年度国勢調査の速報数値では、日置市総人口は52,414人であった。

また、本市の世帯数は、単独世帯や核家族世帯の増加に伴い、今後も増加することが予測されます。

平成27年には22,180世帯となり、平成12年と比較すると、2,138世帯(10.7%)増加することが予測されます。

#### 本市の世帯数の将来予測



注) 平成12年は国勢調査、平成17年以降は人口推計をもとにした推計値

参考) 平成17年度国勢調査の速報数値では、日置市の世帯数は20,060世帯であった。

### 本市の将来推計人口

単位：上段：人、下段：5ヶ年の増減率

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度
総人口	53,391 (100.0)	53,568 0.3%	53,762 0.4%	53,900 0.3%
東市来地域	13,623 (100.0)	13,445 -1.3%	13,244 -1.5%	12,981 -2.0%
伊集院地域	23,961 (100.0)	25,087 4.7%	26,222 4.5%	27,329 4.2%
日吉地域	5,934 (100.0)	5,705 -3.9%	5,487 -3.8%	5,275 -3.9%
吹上地域	9,873 (100.0)	9,331 -5.5%	8,809 -5.6%	8,315 -5.6%

注) 平成12年は国勢調査、平成17年以降は人口問題研究所の簡易人口推計システムによる推計値

参考) 平成17年度国勢調査の速報数値では、日置市総人口は52,414人であった。

### 本市の将来推計高齢化率

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度
高齢化率	26.5%	27.0%	26.6%	28.0%
東市来地域	31.5%	32.6%	32.9%	34.3%
伊集院地域	18.2%	19.2%	19.8%	21.9%
日吉地域	33.2%	33.5%	32.3%	33.2%
吹上地域	35.6%	35.7%	33.9%	34.5%

### 本市の将来推計世帯数

単位：上段：世帯、下段：5ヶ年の増減率

	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度
総世帯数	20,042 -	20,704 3.3%	21,425 3.5%	22,180 3.5%
東市来地域	5,276 -	5,380 2.0%	5,481 1.9%	5,563 1.5%
伊集院地域	8,344 -	9,049 8.4%	9,810 8.4%	10,618 8.2%
日吉地域	2,374 -	2,349 -1.1%	2,327 -0.9%	2,305 -0.9%
吹上地域	4,048 -	3,926 -3.0%	3,807 -3.0%	3,694 -3.0%

注) 平成12年は国勢調査、平成17年以降は人口問題研究所の簡易人口推計システムによる推計値

参考) 平成17年度国勢調査の速報数値では、日置市の世帯数は20,060世帯であった。



## 第4節 日置市の基本理念

「地理的特性と歴史や自然との調和を生かした

ふれあいあふれる健やかな都市づくり」とします。

### 基本理念

日置市は、県都鹿児島市に隣接しており、日常生活においても鹿児島市と深いつながりがあります。また、南九州西回り自動車道の伊集院インターチェンジが開設され、周辺の道路整備も徐々に進んできています。さらに九州新幹線が部分開業するなど、高速交通網が日毎に向上しています。

このような状況を踏まえ、本市が一体となって、新たな地域づくりを展開するうえで、最も生かすべき条件は「60万都市に隣接する地理的特性」と言えます。今後、県都の西隣に位置するという地理的な優位性を最大限に生かしながら、産業の振興を図るとともに、より一層交流の輪を広げることで、定住人口の拡大を図ります。

また、本市は、壮大でロマンに満ちた歴史的、文化的遺産に加え、白砂青松の日本三大砂丘「吹上浜」や東シナ海、さらには優れた泉質を誇る温泉など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く抱えています。

このため、これらの恵まれた資源を活用し、市民が心身ともに健やかに過ごせるまちづくりを目指すとともに、拠点となる施設づくりや長期滞在が可能となる受け入れ体制の整備に努めることによって、集客力の向上を図り、魅力ある観光地づくりを進めていきます。

さらに、効率的で収益性の高い営農を確立するための広域的な農業基盤の整備をはじめ、作物のブランド化と体験農業等を中心とした\*グリーン・ツーリズムの展開や、豊かな海の恵みを活用した水産業の振興、魅力あるにぎわい空間の創出などに努め、市内の一体的浮揚・発展を図っていきます。

このほか、市制施行に伴う規模拡大の効果を発揮しながら、各地域の有する資源を総合的に活用することにより、企業誘致の促進や交流人口の増加を図り、さらに財政基盤を強化することで、公共施設等の効率的な整備や活力あるまちづくりを一層推進していきます。

以上のことから、本市のまちづくりの基本理念を

「地理的特性と歴史や自然との調和を生かした

ふれあいあふれる健やかな都市づくり」とします。

\*グリーン・ツーリズム 主に都市住民が農村に滞在して、農業体験や農村での生活を通じて、伝統文化、自然等にふれるとともに、地域の人々と交流することを目的とした余暇活動。

## 第2章 日置市の将来像

### 第1節 豊かな自然環境を生かしたふれあいと安らぎのある健やかなまちづくり

日置市は、白砂青松の日本三大砂丘「吹上浜」や東シナ海など、美しい景観に恵まれています。この豊かな自然環境を生かし、心身ともに健やかに過ごせるふれあいと安らぎのあるまちづくりを進めます。

### 第2節 地理的特性を生かした魅力あるまちづくり

日置市は、県都鹿児島市と隣接しており、日常生活においても深いつながりがあります。

この地理的特性を最大限に生かしながら社会基盤の整備を進め、産業の振興と定住人口の増加を図り、魅力あるまちづくりを進めます。

### 第3節 古のロマンが織りなす歴史と伝統、風土を生かした教育・文化のまちづくり

日置市は、壮大でロマンに満ちた歴史的、文化的遺産を数多く有しています。これらの資源を生かし、拠点となる施設づくりなどに努め、生涯学習の推進を図り、歴史と文化のまちづくり・人づくりを進めます。

### 第4節 地域資源の持つ可能性を生かした個性ある産業振興のまちづくり

日置市は、豊富な歴史的・文化的遺産や自然資源に加え、県農業開発総合センター等の新たな産業基盤が整備されつつあります。これらの地域資源を効果的かつ一体的に活用することで、地域の特性を生かした農業、林業、水産業、観光等の展開を図るとともに、新たな産業を育成し、個性ある産業振興のまちづくりを進めます。

## 第3編 基本計画

## 第1章 分野別基本方向

### 第1節 社会基盤

#### (どこに住んでいても不便を感じない都市基盤づくり)

\* ユニバーサルデザインの概念のもとで、道路・交通網の充実に加え、きめ細かい情報・通信網や市街地整備を図ることで、老若男女を問わず、また、障害のあるなしに関わらず、全ての人々がどこに居住していても不便を感じず、快適に居住できる地域づくりを進めるとともに、本市にふさわしい魅力ある都市環境づくりを進めます。

#### 1 道路・交通：市内外の移動を円滑に進める道路・交通網の確立

道路網については、旧町間を結ぶ幹線道路の整備充実に加え、渋滞緩和のためのバイパス道路や高速交通へのアクセス道路、生活道路の整備などを進め、市内での移動を円滑にし、災害時にも対応できる道路網を確立します。また、鹿児島市と結ぶ幹線道路の整備を進め、通勤の利便性向上や観光・交流の促進を図ります。

このほか、「吹上浜サイクリングロード」、「歩きたくなる道づくり」等の整備や市街地の道路のバリアフリー化など、人や自転車等が利用しやすい道づくりを進めます。

交通網については、バス路線の再編促進や地域内循環バスの拡充などにより、市内移動における利便性の向上に努める一方、JRの便数拡大や高速バス、深夜バスの運行等における市外との交通アクセスの整備・充実に努めます。

#### 【主要施策】

- (1) 市道整備促進（地方道路整備臨時交付金事業・合併特例債事業・辺地対策事業・過疎対策事業等を活用）
- (2) 国県道整備の促進
- (3) 地域内循環バスの促進 など

#### 2 情報・通信：地域間の格差を解消するきめ細かい情報通信網の整備

情報・通信網については、教育、行政、福祉、医療、防災等の高度化を実現するため、本所・支所間をはじめとする学校、図書館、公民館などの公共施設を高速な情報通信ネットワークで結び、どの地域においても情報が確実に入手でき、

均一な行政サービスを受けられるような体制づくりを進めます。また、郵便局等公共性の高い機関との情報通信ネットワークを整備することにより、市民に対するサービス拠点の拡充を図ります。

市内の情報・通信基盤については、市が整備するネットワークを活用し、携帯電話のサービスエリアの拡充やケーブルテレビの普及に努め、情報格差の解消を進めます。併せて、情報・通信技術についての教育や事業者等の情報化投資に対する支援などを進め、情報・通信基盤の活用を促進します。

#### 【主要施策】

- (1) 地域イントラネット基盤施設整備事業
- (2) 新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業
- (3) 携帯電話エリア拡大事業 など

\* **ユニバーサルデザイン** 1990年にノースカロライナ州立大学のロン・メイス氏が「出来る限り最大限全ての人に利用可能であるように、製品、建物、空間をデザインすること」と定義。バリアフリーが「存在する障害・障壁を除去する」という意図があるのに対して、ユニバーサルデザインは「最初から全ての人に対して障害・障壁を感じさせない」ことを意図している点が異なる。

### 3 市街地整備：本市にふさわしい魅力ある市街地の形成

各地域の市街地については、都市計画の推進や中心市街地活性化事業の導入等により、本市にふさわしい魅力ある市街地づくりを進めます。特に観光・交流の拠点となる地区については、本市の観光イメージにあった街並み整備等を進めます。

また、既存の市街地整備とあわせ、道路整備や住宅・宅地開発により発展が期待される地域については、新たな商業集積を含めた新市街地の形成に向けて取り組みを進めます。

#### 【主要施策】

- (1) 土地区画整理事業
- (2) まちづくり交付金事業 など

資料

表 1 - 1 国道の整備状況

実延長	路線数	整備状況 (m)			整備率 (%)		
		改良済延長	舗装済延長	交通不能延長	改良率	舗装率	交通不能道率
38,517	2	38,517	38,517	0	100.0	100.0	0.0

資料) 道路現況調査 (平成16年 4月 1日現在)

表 1 - 2 県道の整備状況

実延長	路線数	整備状況 (m)			整備率 (%)		
		改良済延長	舗装済延長	交通不能延長	改良率	舗装率	交通不能道率
119,580	23	81,205	112,053	0	67.9	93.7	0.0

資料) 道路現況調査 (平成16年 4月 1日現在)

表 1 - 3 市道の整備状況

実延長	路線数	整備状況 (m)			整備率 (%)		
		改良済延長	舗装済延長	交通不能延長	改良率	舗装率	交通不能道率
742,654	1,215	511,432	662,187	11,569	68.9	89.2	1.6

資料) 道路施設現況調査 (平成17年 4月 1日現在)

表 1 - 4 都市計画区域の状況

単位:ha

	行政区域面積	都市計画区域		都市計画面積割合 (%)
		都市計画区域	市街化区域等 (用途地域)	
日置市	25,302	7,862	689	31.07
東市来地域	7,095	1,465	168	5.79
伊集院地域	5,583	3,470	521	13.71
日吉地域	2,925	0	0	0
吹上地域	9,699	2,927	0	11.57

資料) 鹿児島県市町村要覧、土地対策の概要 (平成16年10月31日現在)

表 1 - 5 土地区画整理事業の状況

	計画面積 (㎡)	実施済面積 (㎡)	実施率 (%)	市以外のものの 実施面積 (㎡)
湯之元第一地区	254,837	8,000	3.1	0
徳重地区	346,366	217,400	62.8	0
合 計	601,203	225,400	37.5	0

資料) 都市計画課 (平成17年3月31日現在)

表 1 - 6 街路事業の状況

	路線数	計画延長 (m)	実施済延長 (m)	実施率 (%)	市以外のものの 実施面積 (㎡)
東市来地域	6	4,620	1,340	29.0	0
伊集院地域	15	16,490	13,027	79.0	0
日吉地域	0	0	0	0.0	0
吹上地域	4	8,130	4,807	59.1	0
合 計	25	29,240	19,174	65.6	0

資料) 都市計画課 (平成17年3月31日現在)

## 第2節 生活環境

### (自然環境と調和する豊かな暮らしづくり)

ごみ処理や生活排水対策などの総合的な環境対策を進めるとともに、自然環境の保護の観点から貴重な財産である吹上浜等の豊かな自然環境を守り、育みながら、自然と調和する暮らしを実現します。

#### 1 水道：良質の水を安定的に供給する体制の確立

水道については、未普及地域の整備や安定供給のための水源確保、水道管や機器の計画的な更新整備、事業の広域化などに努め、住民の快適な日常生活に寄与できるよう随時、安定・安全な水を供給します。

また安心しておいしく飲める水の供給を第一の目標とし、水質管理の徹底に努めます。

施設の維持管理については、監視のシステム化や地方公営企業法の適用など管理の一元化を図る一方、将来的な民間活用の検討を含め、さらに効率的な管理運営体制への移行を模索し、健全経営に努めます。

災害など緊急時においても、可能な限り、その影響を最小限に押さえるため必要な措置を展開し、いつでも安全で快適な水の利用ができるよう、厚生労働省が策定した水道ビジョンに沿った事業の推進に努めます。

#### 【主要施策】

- (1) 上水道施設整備事業
- (2) 簡易水道施設整備事業
- (3) 日置市水源池監視システムの整備 など

#### 2 住宅・公園：地域環境にあった多様な居住空間の整備

住宅・宅地については、民間活力の導入を積極的に進めながら、温泉付き住宅や農園付き住宅など、各地区の特性にあわせた個性ある住宅・宅地の供給を促進します。公営住宅等については、需要の多い地域での老朽住宅の年次的更新や、過疎地域を中心に、高齢者用、単身者用など各地域のニーズにあった多様な公営住宅等の整備を進めるとともに、\* P F I方式などの民間活力を利用して供給力の拡大を図ります。

公園については、各地域にある公園の有効利用を図りつつ、住民交流の拠点となっている公園や農業体験等ができる農業公園の整備を進めます。また、子育てや高齢者の交流等に利用できる小規模な公園も併せて整備します。

公園の維持管理については、\* シルバー人材センターの活用を図るとともに、



住民参加型の管理方式を導入し、\*里親管理制度等の効率的な運営を進めます。

【主要施策】

- (1) 公営住宅建替事業
- (2) がけ地近接等危険住宅移転事業
- (3) 運動公園整備事業
- (4) まちづくり交付金事業 など

\* **PFI** Private Finance Initiative (プライベートファイナンスイニシアチブ) の略。従来公共部門によって進められてきた社会資本等の整備を、民間事業者の資金やノウハウ等を活用して効率的・効果的に進める手法のこと。

\* **シルバー人材センター** 高齢者に地域社会の臨時的・短期的な仕事を提供することを目的とする団体のこと。

\* **里親管理制度** 道路や公園等の公共施設の一部の区域や空間を「養子」とみなして、住民や団体、企業等が「里親」となり「養子」となった施設の一部(区域等)を責任をもって保守管理していく制度のこと。

### 3 快適生活環境：資源循環型社会の構築と生活環境の保全

ごみ処理については、分別回収の徹底によるごみ排出量の削減に努めるとともに、リサイクルセンターによる再資源化を推進します。

生活排水処理については、公共下水道や農業集落排水、浄化槽など、地域の状況に合わせた施設整備を推進します。また、し尿処理施設については、いちき串木野市・日置市衛生処理組合や薩南衛生処理組合との協議を行いながら、両施設の有効活用、新しい処理技術や処理方法の導入、さらに独自の処理施設の整備を含めて早急に検討します。

騒音・振動、悪臭などの環境保全対策を強化し、良好な住環境の維持・向上を図るとともに、快適な住環境維持のため、河川清掃や沿道の美化など、市民と行政が一体となった取り組みを推進します。

【主要施策】

- (1) 再生資源回収事業
- (2) 生ごみ堆肥化容器購入補助事業
- (3) クリーンリサイクルセンター及びリサイクルプラザ施設運営事業
- (4) 下水道整備事業
- (5) いちき串木野市・日置市衛生処理組合運営
- (6) 薩南衛生処理組合運営
- (7) 特殊地下壕対策事業 など

#### 4 自然環境：自然を守り、育むための環境対策の強化

自然環境については、吹上浜の防砂林の保全や海岸線の美化、ウミガメの保護活動などを行い、さらに、海砂採取対策として代替骨材のさらなる研究などを要請しながら、海浜を含む海岸環境保全対策の充実を図ります。また、河川の親水機能や森林空間への環境学習機能の整備などを行い、身近に自然にふれられる環境づくりを進め、自然環境の保全に対する市民の意識啓発を図ります。

また、環境にやさしい地域づくりとして、公共施設などへの新エネルギーや省エネルギーの導入を促進するとともに、市民や事業者に対する意識の啓発を推進します。

##### 【主要施策】

- (1) 浄化槽設置整備事業
- (2) ウミガメ保護監視員設置事業
- (3) 環境調査
- (4) 環境基本計画策定 など

#### 5 火葬場：住民ニーズに対応した火葬場の利用

火葬場については、西薩火葬場組合が管理するいちき串木野市の火葬場や、薩南衛生処理組合が管理する南さつま市の火葬場の利用を図ります。

##### 【主要施策】

- (1) 西薩火葬場組合運営
- (2) 薩南衛生処理組合運営 など

#### 6 消防・防災等：緊急時に対応できる消防・防災体制の確立

消防については、消防と救急の緊急時に対応した体制を作る一方で、他地域の消防本部等との連携を図ります。また、消防機器の整備充実と消防団の充実を図ります。

防災については、治山・治水対策を進めるとともに、防災行政無線の管理運用の統合を図ります。また、自主防災組織の育成や情報通信技術を活用した防災体制の整備充実を図るとともに、関係機関と連携を図り、ライフラインの確保や災害の早期復旧を図ります。

##### 【主要施策】

- (1) 消火栓等消防水利の確保
- (2) 防災行政無線システム統合事業

- (3) 消防・救急車両の更新
- (4) 消防OAシステム など

## 7 交通安全・防犯、消費生活等：子供から高齢者まで安全で安心して暮らせる地域社会の確立

交通安全については、歩道の整備や危険箇所等への交通安全施設等の整備を進めるとともに、子供や高齢者を中心に交通安全に対する教育・普及活動を充実します。

防犯については、防犯灯などの設置や犯罪防止に配慮した環境設計を行うなど、犯罪被害に遭いにくい安心安全な街づくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を強化し、各地区での防犯体制づくりを進める一方、防犯に対する教育・普及活動を推進します。

消費生活については、消費者苦情等に対する相談体制を整備・充実するとともに、消費者情報の提供などの取り組みを推進します。

### 【主要施策】

- (1) 道路反射鏡等設置事業
- (2) 自主防災組織育成事業 など

## 資料

表 2 - 1 上水道による給水状況 単位：人・%

上水道	簡易水道	専用水道	飲料水供給施設	給水人口	平成12年国調人口	普及率
28,592	19,053	0	35	47,680	53,391	89.3

資料) 水道課(平成16年4月1日現在)

表 2 - 2 住宅の種類 単位：戸(%)

持ち家	公営借家	民営借家	給与住宅	間借り	合計
16,109	1,282	2,057	253	124	19,825
(81.3)	(6.5)	(10.4)	(1.2)	(0.6)	(100.0)

資料) 平成12年国勢調査

表 2 - 3 公営住宅等の整備状況等

単位：戸

公営住宅等		合 計	平成12年度公募状況		
公営住宅	単独住宅		公募戸数	応募戸数	競 争 率
981	53	1,034	70	127	1.81

資料) 平成14年市町村財政状況(平成15年3月31日現在)

表 2 - 4 都市公園等の状況

市立公園		市立公園外公園		公園面積合計		1人あたり 公園面積 (m <sup>2</sup> )
箇 所	面 積 (m <sup>2</sup> )	箇 所	面 積 (m <sup>2</sup> )	箇 所	面 積 (m <sup>2</sup> )	
48	770,636	2	5,486	50	776,122	19

資料) 平成14年市町村財政状況(平成15年3月31日現在)

表 2 - 5 ごみ排出量の状況(平成14年度)

ごみ排出量 t / 年	1人1日あたり ごみ排出量 g / 人・日	焼却処理率 (%)	リサイクル率 (%)
12,896	655	87.8	9.2

資料) 鹿児島県の一般廃棄物処理

表 2 - 6 水洗化の比率(平成14年度)

水洗化率 (%)	非水洗化率 (%)
73.8	26.2

資料) 鹿児島県の一般廃棄物処理

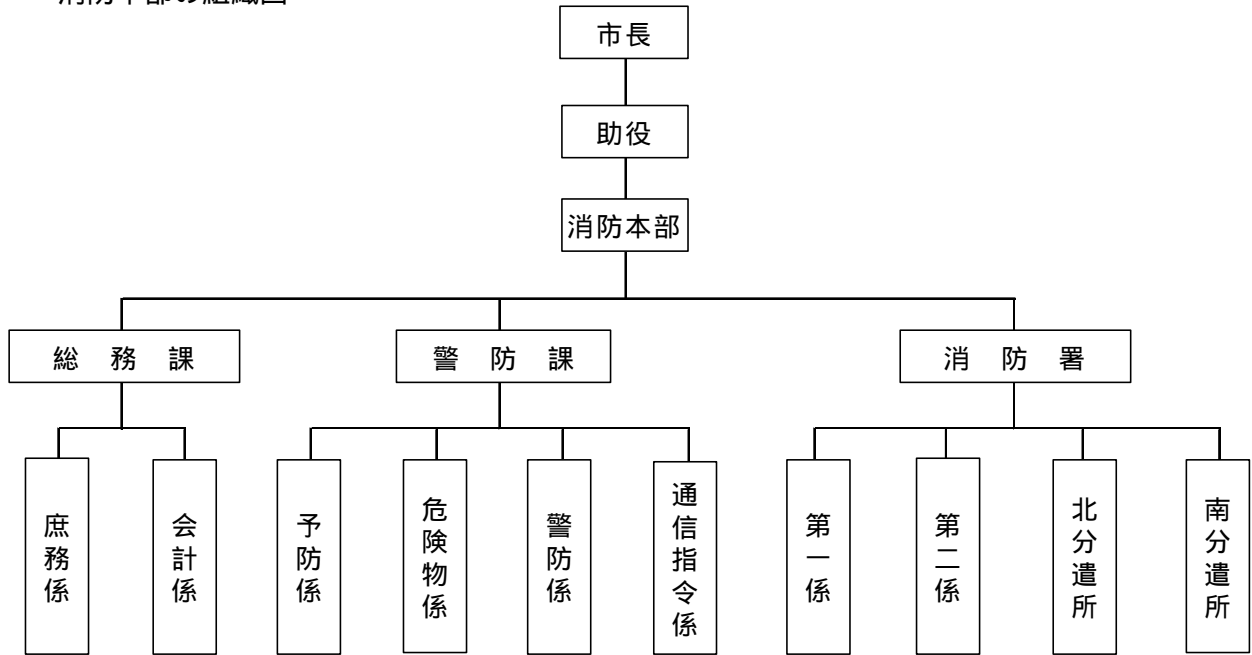
表 2 - 7 し尿の処理方法の構成比(平成14年度)

単位：%

収 集 し 尿				自家処理
し尿処理施設	海洋投入	農地還元	そ の 他	
53.8	34.6	10.1	0	1.5

資料) 鹿児島県の一般廃棄物処理

消防本部の組織図

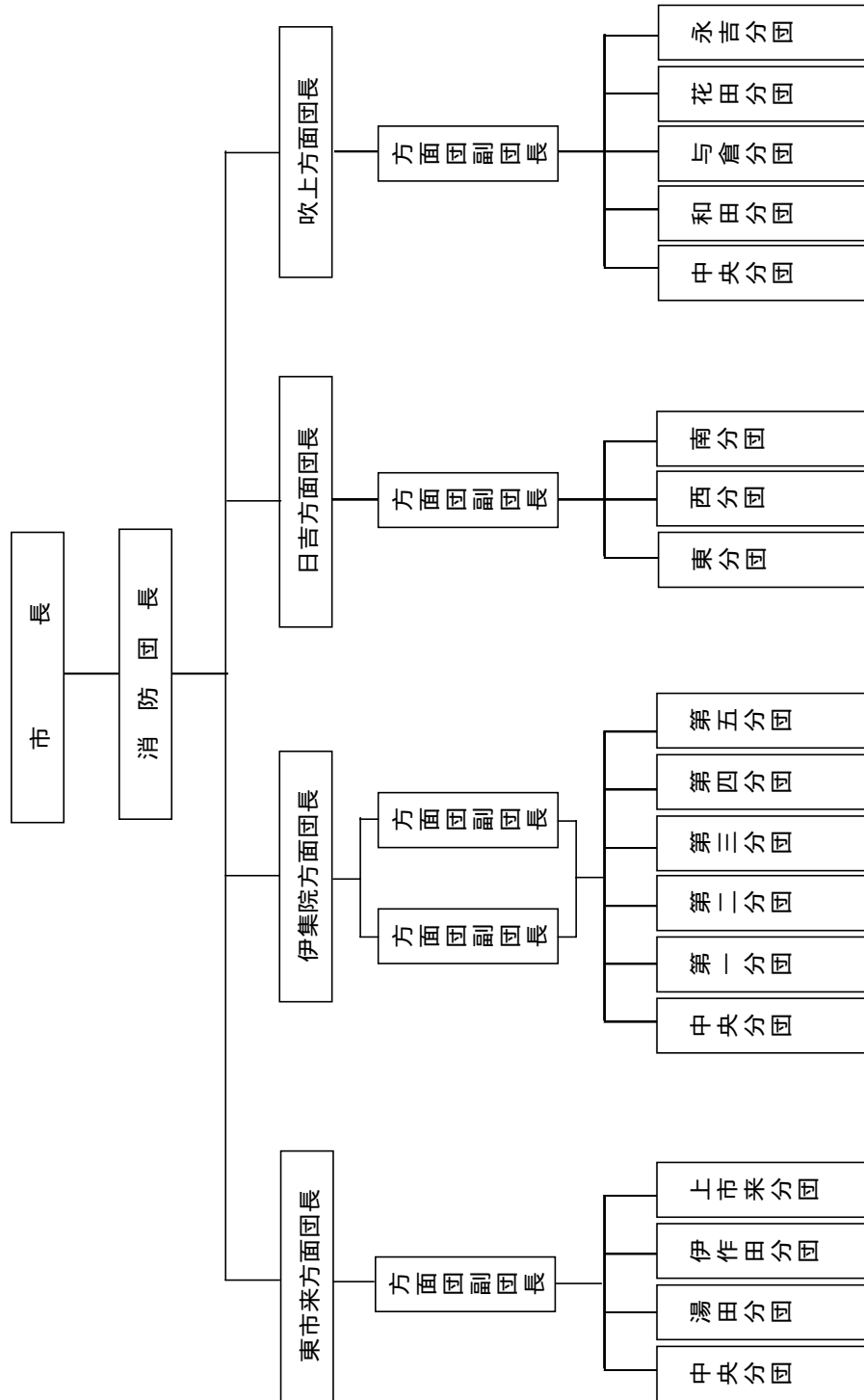


消防本部車両配置状況

平成18年1月1日現在

所属	本部	消防署	北分遣所	南分遣所	備考
車種別	予防査察車	タンク車	ポンプ車	タンク車	
	隊員搬送車	指揮車	救急車	救急車	
	人員資機材搬送車	救助工作車		小型ポンプ積載車	
	防火広報車	救急車(2台)			
計	4台	5台	2台	3台	計14台

【日置市消防団組織図】



### 第3節 産業経済

#### (自然風土や産業基盤を生かした活力ある産業群の育成)

自然、文化、産業拠点などの地域資源を効果的に活用しながら、産業支援体制の強化や産業間の連携を進め、農林水産業や地域産業の高度化を図ります。また、鹿児島市に隣接する地理的条件や発達する交通網を生かした新たな産業の誘致・育成に向けた取り組みを進めます。

#### 1 農林業：支援体制の強化による高付加価値農業の推進

農業については、都市近郊農業や永吉ダム等を利用した水利用型農業など、地域の条件を生かした農業を推進するとともに、畜産の環境対策に対する支援や耕種農家との連携を図りながら、環境保全型農業を進めます。

生産基盤については、広域的な農地の流動化による規模拡大や施設投資の促進を図るとともに、農道等の基盤整備を進めます。

農業振興の支援体制については、農業公社を農業・農村活性化支援センターへと強化することで、就農支援や農作業受委託等に加え、人づくり、後継者育成を図り、試験研究、技術支援等の機能を持つ総合的な営農支援体制を構築し、認定農家の拡大並びに法人化を進めます。併せて、研修圃場等の整備や農業関連の事業所等の誘致を進め、県農業開発総合センターとの連携を強化します。また、生産部会等の活動の促進により、農林産物のブランド化を図るとともに、農業経営の効率化・健全化及び担い手農家の育成を推進します。

流通面では、情報通信技術の活用や流通業者との連携強化による産直体制の拡充など、多様な流通網の確立に努める一方で、産直施設の充実及びネットワーク化や給食事業との連携などを進め、地産地消の体制づくりを進めます。

農村づくりについては、観光農園や貸し農園の整備、グリーン・ツーリズムの受け入れ体制の確立など、都市に隣接する条件を生かした都市農村交流事業を積極的に推進する他、女性の農業経営参画や農業関連活動への参画を促進します。

林業については、森林組合を中心に森林の保全・育成に努めるとともに、林道・作業道等の整備や高性能林業機械の導入による効率化を図ります。また、木材や竹を利用した加工製品の商品化や葉物等の新たな特用林産物の導入を進め、生産性の向上を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) 農林業振興各種事業
- (2) 新規就農者等支援事業
- (3) 都市農村交流事業

- (4) 農業農村整備事業
- (5) 中山間地域総合整備事業 など

## 2 水産業：水産資源の持つ多様な価値を生かした水産業の振興

水産業については、種苗放流や魚礁の設置を進めるとともに、海砂採取への対応や生活排水処理対策の推進など、海岸線及び水質の保全に総合的に取り組み、水産資源の保護・育成に努めます。また、漁港については、漁港整備をはじめ、水揚げや加工・流通施設を充実し、機能強化を図ります。

また、産直施設や観光関連施設との連携により産地直売体制を確立するとともに、体験漁業やマリンレジャー機能の導入を進めるなど、吹上浜の観光・レジャーと連携した水産観光を振興します。

### 【主要施策】

- (1) 種苗放流事業
- (2) 広域漁港整備事業
- (3) 漁港環境整備事業
- (4) 県単漁港整備事業
- (5) 漁業関連事業 など

## 3 工業：活力に満ちた個性的な地域企業の育成

地域企業の振興については、農林水産業と一体となった物産展の開催など、販売促進に対する支援を行うとともに、情報化投資等の生産性向上に向けた取り組みに対する支援を充実します。また、異業種間での交流を進め特産品開発等を促進するとともに、地域企業の新分野進出や新製品開発に対する支援を行うなど、活力ある地域企業の育成を図ります。

薩摩焼、日置瓦、焼酎などの伝統産業については、各生産組合等との連携のもとで、販路開拓をはじめ、後継者の確保・育成を図ります。

企業誘致については、情報提供や住宅斡旋など、企業の進出及び定着に向けた協力体制や誘致体制を強化し、電子部品産業を中心とする産業集積を図ります。また、農業・農村活性化支援センター等との連携を図りながら、農業・食品・\*バイオテクノロジー関連企業の誘致を進めます。

### 【主要施策】

- (1) 企業誘致の推進
- (2) 異業種交流懇話会設置 など



#### 4 商業・サービス業：都市的な魅力を持つ商業空間の創造

商業については、中心市街地活性化事業の導入等により、既存の商業地の面的整備を進めるとともに、商業者による一体的なソフト事業の展開や、都市型サービス業の導入、観光交流事業との連携を進め、集客力の向上を図ります。併せて、経営基盤の強化や人材育成への支援を図ります。

また、道路整備や住宅・宅地開発と併せて、商工会との連携を図りながら、新たな商業集積の可能性について研究します。

サービス業については、創業に対する支援制度の充実や行政改革の推進による需要喚起などを進め、福祉サービス等の地域に密着した\*コミュニティビジネスに取り組む事業者の育成に努めます。また、情報・通信ネットワーク等の整備や\*SOHO等への支援体制を充実し、ソフトウェア関連事業者等の創業や進出を促進します

\*バイオテクノロジー 生命工学。遺伝子の組換え、細胞融合等生物体の活動などを化学工業、環境の浄化、食糧の生産エネルギーの創出などに応用する技術。

\*コミュニティビジネス 地域の資源（労働力、原材料、技術力等）を活用した、地域の需要を満たす小規模なビジネスを指し、利益の追求に加え、地域課題解決を目指すものと定義されている。実施主体として、民間非営利活動団体（NPO、企業組合、農業法人、有限会社、株式会社など）が考えられ、活動分野として、生活密着型ビジネス（介護サービス、家事サービス、子育て支援など）をはじめ、地域振興や資源循環型社会づくりなどがある。

\*SOHO スマールオフィス・ホームオフィスの略語。小規模な事業者や個人事業者のこと。また、事務所などを離れネットワークを利用して仕事をする形態もいう。

#### 【主要施策】

- (1) 商工業振興対策事業
- (2) 商工業制度資金等利子補給事業
- (3) 中心市街地活性化事業
- (4) 地域づくり整備事業 など

#### 5 観光：自然・文化・産業を総合的に活用した体験型観光の推進

観光協会との連携を図りながら、日本三大砂丘「吹上浜」を核に、温泉や文化資源、伝統工芸、農林水産業等を活用した様々な体験ができる観光・レジャーを推進します。吹上浜については、自然景観の保全や養浜に努めながら、各種スポーツやマリンレジャー等の拠点としての機能充実や水産業を活用した観光の振興を図り、鹿児島市等からの日帰りレジャーの拠点として、またスポーツ合宿等を通じた交流拠点としての機能を高めます。

温泉を活用した観光については、温泉街の整備を進めるとともに、公共温泉施設の内容の充実を図り、集客力の向上を図ります。

歴史・文化を活用した観光については、薩摩焼関連施設や各地域の史跡・文化施設等の整備を図るとともに、ネットワーク化し、市内を回遊できる\*エコミュージアムを推進します。また、流鏝馬、妙音十二楽、せつぺとべ、太鼓踊り等の伝統芸能等の一体的なPRなどを行い、伝統芸能のまちとしての魅力づくりを進めます。

さらに、観光農園や産直施設などのグリーン・ツーリズム施設の整備等を進めるとともに、各施設をネットワーク化し、農林水産業と連携した観光を進めます。

観光・交流の基盤については、国民宿舎等の拠点施設の充実を図るとともに、鹿児島市及び高規格幹線道路へのアクセス道路等の整備充実を図ります。また、南薩地域との一層の連携を図りながら、広域的な観光を推進します。

\*エコミュージアム 地域社会の人々の生活とその地域の自然を含む環境全体をそのまま保存し、展示することを通して当該地域社会の発展を目指す、現地保存型の野外博物館のこと。

#### 【主要施策】

- (1) 各地域のイベント補助事業
- (2) 観光団体等の育成強化
- (3) グリーンツーリズム事業 など

### 6 雇用・就労：世代に応じた多様な就労の実現

若年者の雇用・就労については、学校教育において職業体験などによる就労意識の高揚を図るとともに、県や公共職業安定所（ハローワーク）等関係機関との連携のもとで、派遣労働やパート労働など多種多様な求職者の価値観に対応した就業機会の創出を図ります。

中高年を中心とする再就職については、県や職業訓練センター等関係機関との連携のもとで、職業能力の向上を支援します。

高齢者の雇用・就労については、シルバー人材センターの機能を強化し、就労機会の創出を図ります。

障害者の雇用については、事業所への啓発を強化し、就業機会の創出を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) シルバー人材センターの充実
- (2) ハローワークとの連携
- (3) 就業機会の創出 など

資 料

表 3 - 1 産業別就業人口・産業別構成比率

第一次産業		第二次産業		第三次産業		総数
人口(人)	構成比	人口(人)	構成比	人口(人)	構成比	人口(人)
2,551	10.5%	7,444	30.6%	14,301	58.9%	24,296

資料) 平成12年国勢調査(総数には分類不能を含む)

表 3 - 2 農道の整備状況

整備状況(m)			整備率(%)	
改良済延長	舗装済延長	一定要件農道	舗装率	未舗装率
474,316	203,267	88,297	42.9	57.1

資料) 農林水産課(平成17年8月1日現在)

表 3 - 3 林道の整備状況

実延長	整備状況(m)		整備率(%)	
	改良済延長	舗装済延長	改良率	舗装率
51,704	38,933	38,933	75.3	75.3

資料) 農林水産課(平成17年3月31日現在)

表 3 - 4 農家の主要指標

販売農家戸数 (戸)	農業就業人口 (人)	経営耕地面積 (ha)	1戸あたり 経営耕地面積 (a)	農業粗生産額 (千万円)	1戸あたり 農業粗生産額 (万円)
3,768	8,323	2,286	60.7	804	213

資料) 2000年世界農林業センサス、農林水産統計、ポケット要覧

表 3 - 5 畜産の状況

単位: 頭・羽・戸

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養羽数	飼養農家数	飼養羽数
27	1,122	256	6,742	9	891	4	40	10	11,431

資料) 2000年世界農林業センサス

表 3 - 6 林家の状況

所有山林のある林家			保有山林のある林家			林産物販売林家 (戸)
林家数 (戸)	所有山林面積		林家数 (戸)	所有山林面積		
	(ha)	1戸当たり (ha)		(ha)	1戸当たり (ha)	
211	1,301	6.2	1,161	2,786	2.4	211

資料) 2000年世界農林業センサス

表 3 - 7 所有形態別林野面積

単位: ha

国 有 林	民 有 林			合 計
	緑資源公団	公 有 林	私 有 林	
1,912 (13.0%)	84 (0.5%)	759 (5.0%)	12,065 (81.5%)	14,820 (100.0%)

資料) 第48次鹿児島農林水産統計年報(平成12年2月1日現在)

表 3 - 8 水産業の主要指標

漁業経営体数 (経営体)	漁獲金額		漁船隻数 (隻)
	(万円)	1経営体当たり (万円)	
79	82,940	1,050	94

資料) 平成15年漁業センサス

表 3 - 9 工業の主要指標

	東市来地域	伊集院地域	日吉地域	吹上地域	合 計
事業所数	30	40	17	21	108
従業員数	530	1,606	596	395	3,127
製品出荷額(万円)	457,683	4,788,270	830,966	449,732	6,526,651
製品1事業所当たり (万円)	15,256	119,707	48,880	21,416	60,432

資料) 平成15年工業統計

表 3 - 10 商業の主要指標

商店数 (店)	商店従業者数 (人)	年間販売額	
		(百万円)	1商店当たり (万円)
708	3,352	50,333	7,109

資料) 平成14年商業統計調査結果

表 3 - 11 大規模小売店舗の状況

	店舗面積	
	1,000㎡以上3,000㎡未満	3,000㎡以上
日置市	5	3
地域毎の数	東市来地域 2 伊集院地域 2 吹上地域 1	伊集院地域 3

資料) 商工観光課(平成17年5月1日現在)

表 3 - 12 入り込み観光客数の推移

単位:人

平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
1,437,861	1,289,820	892,040	1,324,357	1,378,670

資料) 県観光統計

表 3 - 13 宿泊施設の数(平成17年3月31日現在)

	宿泊施設数	公的宿泊・ 休養施設数
日置市	44	2
地域ごとの数	東市来地域 20 伊集院地域 7 日吉地域 1 吹上地域 16	東市来地域 1 吹上地域 1

資料) 鹿児島県の観光事情

表 3 - 14 シルバー人材センター会員の年齢別構成

単位：人

	伊 集 院 町 シルバー人材センター	日 吉 町 シルバー人材センター	合 計
60歳～64歳	27	6	33
65歳～69歳	67	8	75
70歳～74歳	48	9	57
75歳～79歳	15	1	16
80歳以上	9	0	9
合 計	166	24	190

(平成17年3月31日現在)

## 第4節 保健医療福祉

### (子供から高齢者まで安心して暮らせるまちづくり)

ユニバーサルデザイン概念のもとで、各地域での保健体制を充実するとともに、病気、介護に対する予防事業を強化し、すべての市民が居住する地区でそれぞれの能力や状況に応じて、生涯を通じて健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

また、保健・医療・福祉の連携を強化し、必要な人が必要な時に必要なサービスが受けられるきめ細かい体制づくりを進めます。

#### 1 保健・健康づくり：地域に密着した保健推進体制の構築

保健については、保健・医療・福祉に関する専門的な人材の拡充や、中核となる保健センターの整備と、既存の地域保健センターの機能充実を進め、地域での保健体制を強化します。また、各ライフステージに応じた保健事業については、地域保健センターを中心に地域に密着した形で展開します。さらに、学校保健・産業保健など多様な関係者による連携のとれた取り組みを進め、情報システムの整備・活用を図り、効果的な保健事業の推進に努めます。

市民の健康づくりについては、地域の健康づくり推進員活動を中心とした住民自らの健康づくりが展開できるよう、地域組織の構築・環境整備などを支援します。また、地域の特徴である温泉施設を利用した健康づくり活動などを通じ、市民が日常的に健康づくりに取り組めるまちづくりを進めます。

なお、これらの事業の基盤となる健康増進計画を策定し、計画的な推進を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) 子供にやさしいまちづくり事業
- (2) 元気な市民づくり運動事業
- (3) 健康の駅・まちの駅の拡充 など

#### 2 医療：病気や介護に対する予防の充実

医療については、増大する医療費の適正化を図るため、医療機関や保健センター等と連携しながら健康の保持増進から病気の予防、診断、治療、リハビリテーションまでの包括的、かつ、総合的な保健・医療体制の充実に努めます。また、市民病院については、関係機関等との十分な協議を行い、経営形態を含めて検討するとともに、医師等の確保や診療科目の拡充等による機能強化を図り、地域医療並びに介護予防の拠点として、その充実を図ります。

救急医療については、医師会や消防署など関係機関等との連携により、休日・

夜間の初期救急医療体制、第二次救急医療体制の充実を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) 生きがい対応型デイサービス事業
- (2) 転倒骨折予防事業
- (3) 感染症予防接種事業
- (4) 生活習慣病の予防 など

### 3 社会福祉：市民が相互に支え合う福祉のまちづくり

児童福祉については、延長保育や一時保育、障害児保育等の保育対策等促進事業や療育の充実を図ります。また、日常的に利用できる公園の整備や、子育て支援センターを中心とした子育てグループの育成や相談体制の充実など、子育て支援の体制を強化します。

障害者（身体・知的・精神）福祉については、福祉施設の拡充や障害者の社会参加に向けた取り組みを強化します。また、公共施設をはじめ公共性の高い施設等のバリアフリー化を促進します。

福祉の推進体制については、少子高齢化に伴い高齢者や障害者福祉の推進を図るとともに少子化に対応し、子育て支援の充実を図っていきます。

また社会福祉協議会の体制を強化し、新たな事業の導入による機能強化を図ります。さらにボランティアやNPO法人の積極的な育成を推進し、市民が相互に支え合う福祉のまちづくりを進めます。

#### 【主要施策】

- (1) 重度心身障害者医療費助成事業
- (2) 重度身体障害者日常生活用具給付事業
- (3) 身体障害者補装具給付事業
- (4) 特別障害者手当等支給事業
- (5) 生活保護費の支給 など

### 4 高齢者福祉：きめ細かく質の高い高齢者福祉サービスの提供

将来の一層の高齢化に対応するため、各種施設の整備充実を図ることはもちろん、誰もが住み慣れた我が家で家族に見守られながらサービスを受けられるよう、在宅福祉にも特に力を入れて取り組みを進めます。

このうち、介護保険については、必要な高齢者が必要なサービスを確実に受けられるように、情報提供や相談体制の充実を図るとともに、介護施設の整備促進並びに多様な介護サービス事業者の育成に努めます。また、地域包括支援センタ



ーを設置し、介護予防の推進を図るため地域支援事業の充実及び新予防給付を含めた介護認定の適正化、介護サービスの評価体制の確立を図ります。

介護保険以外の高齢者福祉については、介護予防・生活支援や社会参加の機会の拡充に努めます。介護予防・生活支援については、高齢者ニーズの把握に努めながら新たなサービスを導入するなど、公的な在宅サービスの充実を図るとともに、介護保険サービスの隙間を埋めるボランティア等の組織化や、地域における保健福祉システムの充実を図ります。また、産直施設等の充実やシルバー人材センターの体制強化による就労機会の拡充、小規模多機能施設（宅老所）の設置やイベントの開催等による交流の場の拡充、学校教育や生涯学習等との連携による高齢者の活躍する場づくりなどに努めます。

さらに、社会参加を促進するために、広域公共交通サービスの充実や市内循環バス等による利便性の向上を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) はり・きゅう助成事業
- (2) 介護手当の支給
- (3) 敬老金の支給
- (4) 高齢者クラブ助成
- (5) 「食」の自立支援事業（配食サービス）
- (6) 在宅介護支援センター運営委託
- (7) 高齢者住宅改造費助成事業
- (8) 老人福祉計画策定 など

#### 5 子育て支援（児童福祉）：安心して子供を生み、育てることができ、子供が健やかに成長できる環境づくり

男女共同参画社会の構築に対する市民や事業所等の理解を深め、性別にかかわらず、男女が協力して仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めます。

併せて、出産や子育てに係る相談窓口の充実をはじめ、住民のニーズに応じた地域全体での子育て支援体制の強化や母子保健、乳幼児医療等の充実を図ります。

なお、次世代育成支援対策推進法に基づき、これらの施策を含め、子供が健やかに成長できる環境づくりを一層推進することにより、少子化対策に取り組みます。

#### 【主要施策】

- (1) 放課後児童健全育成事業
- (2) ひとり親家庭医療費助成事業

- (3) 児童育成事業推進等対策事業
- (4) 母子家庭自立支援給付金事業
- (5) 乳児保育促進等事業
- (6) 保育所地域活動事業
- (7) 一時保育促進事業
- (8) 地域子育て支援センター事業
- (9) 延長保育促進事業
- (10) 児童扶養手当支給事業
- (11) 児童手当支給事業
- (12) 幼児医療費助成事業 など

資 料

表 4 - 1 医療施設の状況

病 院		診 療 所		歯 科 診療所数
病 院 数	病 床 数	診療所数	病 床 数	
10	910	41	174	19

資料) 健康保険課(平成17年5月1日現在)

表 4 - 2 医師数

単位:人

		医 師		歯科医師	
		常 勤	非 常 勤	常 勤	非 常 勤
日 置 市	病 院	53	13.5	1	0.2
	診療所等	34	4.5	19	0

資料) 健康保険課(平成17年5月1日現在)

表 4 - 3 医師等の充足状

況単位:人

1 医師当たりの人口	1 歯科医師当たりの人口	1 薬剤師当たりの人口
580	2,667	988

資料) 健康保険課(平成17年5月1日現在)

表 4 - 4 市民病院の状況

診療科目	医師数	病床数	外来患者数(人)	入院患者数(人)
内科	3	一般病床50床 (うち療養型病床群36床)	25,510 (16年度延べ数)	16,156 (16年度延べ数)

資料) 日置市民病院(平成18年1月1日現在)

表 4 - 5 要介護者等の状況 単位:人

高齢者数	合 計		
	要支援者数	要介護者数	(要援護者数)
14,634	648	2,196	2,844

資料) 介護保険課(平成17年4月1日現在)

表 4- 6 介護保険関連施設の状況

特別養護老人ホーム		老人保健施設		療養型病床群		デイサービス センター
施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	
5	280	3	220	4	70	8

資料: 介護保険課(平成17年10月11日現在)

表 4 - 7 在宅介護のサービスの状況

	訪問 介護	訪問入 浴介護	訪問 看護	訪問リ ハビリ	居宅療 養管理 指導	通所 介護	通所リ ハビリ	短期入 所生活 介護	短期入 所療養 介護	痴呆対 応型共 同生活 介護	特定施 設入所 者生活 介護	福祉用 具貸与	特定福 祉用具 の購入	住 宅 改 修	居宅介 護支援
実施	10	1	3	4		8	8	5	6	11	1	3			14
数	514	12	73	33	70	615	672	94	34	203	11	534	38	34	1,618

資料) 介護保険課(平成17年8月分)

表 4 - 8 青松園の状況

経営主体	施設の種類別	定員	併設事業	従事者数
日置市	特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉施設)	80人	短期入所生活介護事業(12床)	48人

資料) 青松園(平成18年1月1日現在)

表 4 - 9 保育園等（認可）の状況

保育園等数（箇所）		定員数 （人）	入所者数 （人）
	うち公立		
20	3	16	1,079

資料） 福祉課（平成17年10月1日現在）

表 4 - 10 特別保育の実施状況

単位：箇所

乳児保育	延長保育	一時保育	障害児保育	休日保育	保育所地域活動
20	20	16	1	0	18

資料） 福祉課（平成17年5月1日現在）

表 4 - 11 児童クラブの設置状況

公 設	民 設	公設民営
3	10	1

資料） 福祉課（平成17年5月1日現在）

表 4 - 12 障害者福祉施設の設置状況

知的障害者施設	精神障害者施設	知的障害者生活援助	身体障害者施設
4	1	3	4

資料） 福祉課（平成17年5月1日現在）

## 第5節 教育文化 (特色ある地域文化を継承する風土づくり)

家庭や地域と十分連携した幼児教育や学校教育に努めるとともに、様々な体験活動や地域活動への参加等を通じて青少年の健全育成を図ります。

また、伝統芸能等を保存・継承・活用する体制づくりを強化するとともに、地域の自然や文化、産業等を活用した学習活動を充実し、多くの人々が地域文化に親しみ、地域文化を大切にすまちづくりを進めます。

### 1 幼児教育：人間形成の基礎となる幼児教育の充実

幼児教育については、教職員研修の充実や幼稚園・小学校の連携により、教育内容の充実を図ります。また、家庭や地域との連携による子育て支援における教育機能の充実を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) 幼稚園就園奨励費補助 など

### 2 学校教育：個性を育む特色ある学校づくりの推進と教育環境の整備充実

小・中学校については、校舎や体育館等の教育施設の整備を進めるとともに、パソコン機器等の設備の充実や国際理解教育の推進を図ります。

また、地域の人材活用や各種団体等との連携を進めながら、豊かな自然・文化・産業を生かした特色ある学校教育を進めます。特に、小規模校については、相互交流を推進するとともに、山村留学や特認校制度の充実を図ります。また、適正な教育環境の整備についても努めます。

高校については、県と連携しながら総合学科の導入・学科の再編成・学区のあり方等についての検討を行います。また、多様な学習機会を確保するために、高等教育機関の立地に向けた取り組みを推進します。

#### 【主要施策】

- (1) 小・中学校施設整備
- (2) 山村留学・特認校制度の充実
- (3) 教職員等研修事業
- (4) 高等教育機関の立地促進 など

### 3 社会教育・社会体育：身近に学べる学習・スポーツ・レクリエーション体制の確立

生涯学習については、条例公民館の施設充実を図り、身近に利用できる学習施設の整備を進めるとともに、各地域の図書館等の情報ネットワーク化や設備・備品の共同利用を進め、サービス内容の充実に努めます。また、効率的な人材活用を図るとともに、高等教育機関等と連携し、多様な学習機会の提供に努めます。

スポーツ・レクリエーションについては、各地域の拠点施設の整備充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの設立を進めるなど、子供から高齢者まで幅広く参加できる体制づくりを進めます。また、拠点施設やサイクリングロード等を利用し、スポーツ合宿の拠点としてのまちづくりを進め、スポーツを通じた交流を推進します。

#### 【主要施策】

- (1) 生涯学習推進体制の整備
- (2) 公民館活動等地域活動の強化充実
- (3) 社会教育（体育）有志指導者の育成 など

### 4 青少年の健全育成：心身共に健やかな次代を担う人材づくり

各種派遣研修事業や交流事業を強化するなど青少年の自主的な学習活動に対する支援を充実するとともに、社会奉仕体験活動や自然体験活動の場の創出を図ります。

また、学校週5日制の実施に伴い、休日の青少年の地域活動への参加や青少年団体の組織化を促進します。

#### 【主要施策】

- (1) 姉妹盟約中学生派遣事業
- (2) 青少年海外派遣事業
- (3) ふるさと学寮の充実
- (4) 子供会大会（キッズフェスティバル） など

### 5 文化：伝統を継承し、活用する仕組みの構築

豊富な伝統芸能等については、自治会等での継承活動に対する物心両面からの支援を強化するとともに、映像化等による記録・保存活動を進め、教育活動や観光等への効果的な活用を図ります。

また、各地域における文化活動の拠点となる施設を整備するとともに、これらの施設の総合的なネットワーク化を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) 指定文化財保護活用事業
- (2) 文化祭の開催
- (3) 文化会館自主事業の充実 など

## 6 国際交流・地域間交流：地域内外で活躍する人づくり

旧町での姉妹都市・友好都市などについては、日置市において継承するとともに、本市の理念や資源をテーマとした新たな交流先の拡大を図ります。

また、姉妹都市・友好都市との交流イベントの開催や、小・中学生、高校生を対象にしたホームステイや交換留学、民間団体による各種交流など多様な交流活動を推進します。

### 【主要施策】

- (1) 国際交流事業
- (2) 外国青年招致事業 など

## 7 人権教育の推進：人権を守り心の通うまちづくり

人権に関する正しい認識を深めるため、地域・学校・行政などあらゆる場において人権教育活動を展開するとともに、積極的な人権問題の啓発や広報活動を行い、人権に対する市民の意識の高揚を図ります。

### 【主要施策】

- (1) 人権教育啓発事業 など

## 資料

表 5 - 1 幼稚園の状況

公立幼稚園				私立幼稚園			
幼稚園数	定員	園児数	受入年齢	幼稚園数	定員	園児数	受入年齢
5	280	83	4～5歳	3	490	361	2～5歳

資料) 学校教育課(平成17年5月1日現在)

表 5 - 2 小・中学校・高等学校の状況

小学校		中学校		高等学校			
学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数		合計	生徒数
				県立	私立		
20	2,988	7	1,697	2	2	4	2,451

資料) 平成17年度学校基本調査(平成17年5月現在)

表 5 - 3 姉妹盟約の状況

盟約町名	旧実施町
岐阜県関ヶ原町	伊集院町
滋賀県多賀町	伊集院町
始良郡加治木町	伊集院町
北海道弟子屈町	東市来町
肝属郡南大隈町	日吉町
岐阜県上石津町	吹上町

資料) 総務課(平成17年5月1日現在)



表 5 - 4 日置市立小学校学級編成表 ( )は特殊学級児童数別掲

学校番号	学校名	[上段] 児童生徒数								備考
		児童生徒・学級数				[下段] 学級数				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊	計	
1	鶴丸小	30	21	29	(1) 29	(1) 24	29	2	164	
		1	1	1	1	1	1	1	7	
2	伊作田小	16	16	12	17	29	19	0	109	
		1	1	1	1	1	1		6	
3	湯田小	38	51	35	44	46	43	0	257	
		2	2	1	2	2	2		11	
4	皆田小	0	5	4	4	5	4	0	22	
		0	1	1	0	1			3	
5	上市来小	12	17	11	20	11	16	0	87	
		1	1	1	1	1	1		6	
6	美山小	5	4	7	9	9	7	0	41	
		1	1	1		1			4	
7	伊集院小	122	101	115	(1) 104	121	(3) 100	4	667	
		5	3	3	3	4	3	2	23	
8	飯牟礼小	6	20	14	9	10	10		69	
		1	1	1	1	1	1		6	
9	土橋小	10	8	9	8	14	11		60	
		1	1	1	1	1	1		6	
10	伊集院北小	23	30	40	(1) 37	(1) 46	(1) 53	3	232	
		1	1	1	1	2	2	1	9	
11	妙円寺小	78	84	98	89	(1) 105	(1) 98	2	554	
		3	3	3	3	3	3	2	20	
12	日置小	21	21	18	18	25	14	2	119	
		1	1	1	1	1	1	1	7	
13	住吉小	8	3	6	6	7	10		40	
		1	1	1		1	1		5	
14	日新小	12	6	7	9	9	11		54	
		1	1	1		1	1		5	
15	吉利小	9	14	9	15	(1) 13	10	1	71	
		1	1	1	1	1	1	1	7	
16	扇尾小	1	6	3	2	2	6		20	
		1		1		1			3	
17	永吉小	16	5	15	12	10	17	0	75	
		1	1	1	1	1	1		6	
18	伊作小	47	44	52	45	(1) 46	56	1	291	
		2	2	2	2	2	2	1	13	
19	花田小	3	5	8	2	9	3	0	30	
		1		1		1			3	
20	和田小	2	6	8	3	5	4	0	28	
		1		1		1			3	
小学校		(0) 459	(0) 467	(0) 500	(3) 482	(7) 546	(5) 521	15	2,990	
合計		27	23	25	19	28	22	9	153	

資料) 学校教育課(平成17年5月現在)

表 5 - 5 日置市立中学校学級編成表 ( )は特殊学級児童数別掲

学校番号	学校名	[上段] 児童生徒数					備考
		児童生徒・学級数		[下段] 学級数			
		1年	2年	3年	特殊	計	
1	東市来中	(1) 97	110	(2)117	3	327	
		3	3	3	1	10	
2	上市来中	12	11	19	0	42	
		1	1	1	0	3	
3	伊集院中	(3)110	115	127	3	355	
		3	3	4	1	11	
4	伊集院北中	165	(2)164	160	2	491	
		5	5	4	1	15	
5	土橋中	16	8	15	0	39	
		1	1	1	0	3	
6	日吉中	54	60	64	0	178	
		2	2	2	0	6	
7	吹上中	(1) 84	82	98	1	265	
		3	3	3	1	10	
	中学校 合計	(5)538	(2)550	(2)600	9	1,697	
		18	18	18	4	58	

資料) 学校教育課(平成17年5月現在)

表 5 - 6 社会教育・社会体育施設の状況

施設名	施設数	施設名	施設数
文化会館	1	地区公民館	15
中央公民館	4	歴史民俗資料館	1
図書館	3	武道館	3
体育館	7	相撲場	3
弓道場	3	ソフトボール場	1
テニスコート	5	陸上競技場	2
プール	2	運動広場	5
野球場	3	グラウンドゴルフ場	3
ゲートボール場	2		

資料) 社会教育課・市民スポーツ課(平成17年5月1日現在)

## 第6節 住民自治

### (地域の活性化を支える組織活動の充実)

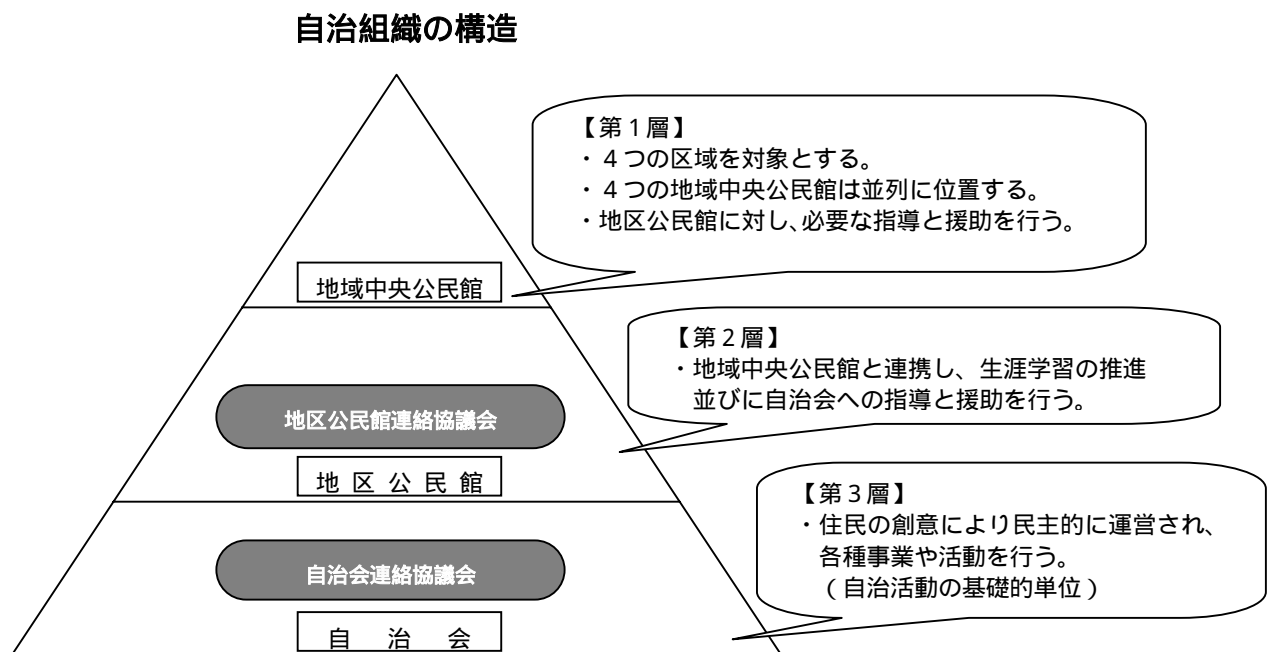
住民自治組織については、青年、女性、高齢者等の各種組織の統合を進めるとともに、各地域における組織の充実を図り、自主的な住民自治活動を支援します。

併せて、住民自治活動の核となる人材の育成やボランティア・NPOなど新たな組織形成を促進します。

また、住民自治活動の拠点施設としての各地域・地区の集会施設の整備や学校施設の開放など既存施設の有効活用に努めます。

行政においては、新たに地域振興部門を設置するとともに、各種支援制度を創設し、住民による主体的な地域活動への支援体制を強化します。

自治会については、過疎・高齢化の進展により地域活動が困難になってきている自治会もあることから、地域の実情を踏まえながら、住民の主体的な取り組みを基に、小規模自治会等の再編を促進します。



#### 【主要施策】

- (1) 自治会の再編
- (2) まちづくり団体支援活動育成事業
- (3) 自治会育成交付金
- (4) 自治会活性化補助金
- (5) 地区公民館整備事業 など

表 6 - 1 自治会の状況

	自治会数
日置市全体	274
東市来地域	53
伊集院地域	70
日吉地域	77
吹上地域	74

資料) 総務課(平成17年5月1日現在)

## 第7節 行財政

### (市民の満足度と効率化を両立できる体制づくり)

行政運営に市民が主体的に参画する仕組みづくりや市民が主役となるまちづくりを進めます。また、合併に対する支援措置を効果的に活用しながら、市民の満足度と効率的な行財政運営を両立できる体制づくりを進めます。

#### 1 市民参画：市民が主役となるまちづくりの推進

行政情報については、情報公開条例に基づく情報公開制度の円滑な運用により、市民と行政の情報の共有化を図ります。

また、広報紙の充実のほか、地域説明会やインターネット等多様な手段による広報活動を推進するとともに、地域審議会の設置、アンケートの実施、インターネット上の電子会議室の設置等による多様な広聴手段を確立します。

また、男女共同参画基本計画など市民参画の指針を定めるとともに、地域振興部門を設置し、市民と行政との協同による地域振興計画の策定を通して、市民の声を施策へ反映することに努めます。

さらに、公設民営による施設整備など、住民参加型の事業方式を積極的に導入し、市民が主体的に地域づくりに参画する仕組みづくりを進めます。

#### 【主要施策】

- (1) 行財政改革の推進
- (2) 男女共同参画基本計画の策定
- (3) 共生協働の地域づくり
- (4) 広報公聴活動の充実
- (5) 市民と語る会開催 など

#### 2 行政：質が高い行政サービスの効率的な運営

自治体運営の基本原則、理念、行政の基本ルールを明確化、かつ、具体化する自治基本条例を制定し、円滑な行政運営に努めます。

市民サービスについては、保健福祉や農業振興、都市計画等の専門的な職員の確保・育成に努めサービスの質の向上を図ります。また、電子自治体の構築を進め、在宅で各種申請や施設予約等ができるようにするとともに、郵便局等の公共性が高い機関との情報ネットワーク化により行政サービスを提供できる拠点を拡充し、市民の利便性向上を図ります。

行政組織については、管理部門を中心に合理化を図りながら、専門的な事業体制を確立するとともに、支所は保健福祉等の市民サービス部門を中心に体制の充

実を図ります。なお、本所・支所ともに市民と直接接する各種の窓口業務については、取扱時間の延長等やすべての市民が気軽に利用できるような環境づくりを進めます。

また、職員体制については、本市の規模にふさわしい適正人員への円滑な移行と併せて事務改善も進めながら効率的な整備を進めます。外郭団体等については、統廃合を進める一方で、施設等の維持管理のための公社等の充実を図ります。

さらに、事業の推進にあたっては、行政評価システムを導入し、施策の効果や市民の満足度等を十分に反映した行政運営を目指します。

#### 【主要施策】

- (1) 効率的な行政運営の確立
- (2) 専門的な職員の確保・育成
- (3) 地図情報システムの整備
- (4) 証明書自動交付機の導入 など

### 3 財政：健全な財政運営に向けた取り組みの強化

歳入面については、合併に伴う各種財政支援措置を効果的に活用するとともに、使用料・手数料の見直し並びに統一を進め、歳入の安定確保を図ります。また、歳出面については、費用対効果に基づく重点的な投資を進めるとともに、各種サービスの外部委託や民間活力を活用した施設整備の推進などにより、行政改革も進めながら効率的な財政運営に努めます。

さらに、外部団体等を含めた総合的な財政指標の作成及び評価を実施しながら、財政の安定運営を図ります。

#### 【主要施策】

- (1) 行政評価システムの導入など

資料

表 7 - 1 財政状況

歳入

単位:千円

区分 \ 年度	平成15年度			平成16年度		
	金額	構成比	対前年度増減率	金額	構成比	対前年度増減率
地方税	3,609,932	15.7	4.8	3,689,732	14.8	2.2
地方交付金	8,342,902	36.4	6.5	8,290,267	33.2	0.6
国庫支出金	1,685,531	7.4	20.1	2,085,402	8.4	23.7
県支出金	1,747,719	7.6	4.7	1,351,877	5.4	22.7
分担金及び負担金	311,952	1.4	6.2	371,625	1.5	19.1
使用料及び手数料	457,595	2.0	1.2	446,679	1.8	2.4
財産収入	52,030	0.2	11.2	71,738	0.3	37.9
その他	6,719,863	29.3	12.4	8,640,442	34.6	28.6
計	22,927,524	100.0	1.4	24,947,762	100.0	8.8

歳出

単位:千円

区分 \ 年度	平成15年度			平成16年度		
	金額	構成比	対前年度増減率	金額	構成比	対前年度増減率
人件費	4,066,779	18.4	5.2	3,977,918	16.2	2.2
物件費	2,264,672	10.2	5.5	2,252,945	9.2	0.5
維持補修費	154,532	0.7	3.5	172,349	0.7	11.5
扶助費	2,232,347	10.1	21.4	2,366,554	9.7	6.0
補助費等	2,210,627	10.0	5.8	2,459,298	10.0	11.2
投資的経費	5,595,569	25.3	6.5	6,699,983	27.3	19.7
公債費	3,259,136	14.8	7.5	3,186,487	13.0	2.2
その他	2,310,318	10.5	0.8	3,392,929	13.9	46.9
計	22,093,980	100.0	1.0	24,508,463	100.0	10.9

資料) 平成16年度市町村財政状況

## 第2章 地域別振興方向

### 第1節 東市来地域

#### 【現状】

本地域は、鹿児島県を代表する伝統工芸である薩摩焼の産地・美山地区や優れた泉質を誇る湯之元温泉を有しており、観光交流の拠点となっています。また、近年は江口浜を中心にマリレジャー愛好者が増えており、水産業の振興を図るための物産施設とあわせ、海浜を生かしたまちづくりを進めています。

一方で、湯之元温泉は施設整備や街並み整備の遅れから集客力が低下しており、その再生が課題となっています。また、観光交流施設が分散しており、周遊性をもたせるなどこれらの有機的連携が必要となっています。

こうした中、本地域は次のような方向で地域振興を進めます。

#### 【振興方向】

美山地区の薩摩焼の里づくりを推進するとともに、文化交流センター等との連携を図り、歴史・文化を生かしたまちづくりを進めます。

江口浜海浜公園及び国民保養センター「江口浜荘」及び漁業関係者等との連携を図り、水産と観光が一体となった海洋レジャーの拠点づくりを進めます。

湯之元地区は、温泉街の風情を持つ温泉地としての再整備を推進するとともに、美山地区や江口浜、観光農園等との連携を図りながら観光交流滞在拠点としての機能強化を進めます。

地域農業の振興を促進するため、農業生産基盤の強化、地域資源循環型農業の推進、豊かな資源を生かしたグリーン・ツーリズム、農産物をはじめとする地産地消の推進を図り活力ある地域づくりを進めます。

#### 【重点事業】

重点事業	関連する市創生プロジェクト
薩摩焼の里づくりの推進及び美山インターの整備	史と景と文化のまちづくりプロジェクト
湯之元地区の再開発整備	
総合運動公園及び湯之元球場の整備並びに活用の促進	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト
江口浜海浜公園の整備	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト
国民保養センター「江口浜荘」及び周辺施設の整備	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト
地域資源循環型農業の推進	
江口漁港を拠点とする水産業の振興	
文化交流センターの有効活用及び市来鶴丸城跡地の活用	史と景と文化のまちづくりプロジェクト



## 第2節 伊集院地域

### 【現状】

本地域は、市の区域において人口が最も多く、行政機関が集中しているほか、企業立地や商業集積も進んでおり、行政・経済活動の中心として、これまで自然と歴史を活かした「風格ある教育のまち」を基本理念にまちづくりが進められています。

また、道路・交通網が発達し、交通の結節点となっているほか、鹿児島市と隣接するベッドタウンとしての機能も有しています。

一方で、鹿児島市への通過点にあることから慢性的な交通渋滞問題等を抱えています。また、商業や文化・レジャー、教育機関等の高度な都市機能は十分であるとは言えず、市の市街地としての都市機能を高めることが求められます。

こうした中、本地域は次のような方向で地域振興を進めます。

### 【振興方向】

市街地整備にあわせた魅力ある商業空間の整備や、都市型サービスの導入や教育機関の誘致など、多くの市民が集まる市街地としての魅力づくりを進めます。

駅周辺の整備や渋滞緩和に向けた道路整備など、市内の移動を円滑に進めるための交通拠点としての機能強化を図ります。

県都鹿児島市の近郊都市としての優位性を生かした、都市近郊農業の生産・流通整備を図ります。

住民の健康増進と自由時間の確保に努め、老若男女を問わず、健全に楽しめる、心と体をリフレッシュする場として、伊集院総合運動公園及び健康づくり複合施設ゆすいんの活用促進を図ります。

### 【重点事業】

重点事業	関連する市創生プロジェクト
中心市街地活性化事業等の導入による市街地の再整備	
伊集院IC周辺の開発	
渋滞緩和に向けた循環道路の整備	
伊集院駅周辺の整備	
下水道処理施設の整備促進	環境にやさしいまち推進プロジェクト
妙円寺詣りの街路整備	史と景と文化のまちづくりプロジェクト
お茶・いちご・畜産を中心とする都市近郊農業の振興と基盤整備	食と農の創造拠点整備プロジェクト
伊集院総合運動公園の整備及び健康づくり複合施設ゆすいんの活用促進	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト いきいきすこやか拠点整備プロジェクト

### 第3節 日吉地域

#### 【現状】

本地域は、肉用牛・酪農などの畜産業が盛んです。地場産業としての日置瓦の生産や電子部品産業も立地しています。また「せつぺとべ」に代表される伝統行事や史跡も豊富に存在しています。

一方で、過疎・高齢化は進行しており、その対応が求められています。また、市の中央に位置する地理的条件の活用や、市で唯一の市民病院を貴重な地域資源として活用していくことも課題となっています。

こうした中、本地域は次のような方向で地域振興を進めます。

#### 【振興方向】

市の地理的な中央にある立地条件を生かし、市民病院を中心に、市全体の保健・医療・福祉・介護予防の拠点としての地域づくりを進めます。

高速交通体系やJR、空港等と結ぶ道路・交通網の整備充実を図り、住民生活の利便性向上を図るとともに、企業等の立地促進に努めます。

サイクリングロードの整備や景観を生かした公園整備等を進め、交流による地域活力の向上を図ります。

農業生産基盤の整備を行い、総合的な農業の振興を図ります。

特産品の開発を積極的に進めます。

#### 【重点事業】

重点事業	関連する市創生プロジェクト
南九州西回り自動車道等へのアクセス道路の整備	
いきいきすこやかセンターの整備	いきいきすこやか拠点整備プロジェクト
夕日が丘公園の整備	吹上浜アスリーの森づくりプロジェクト
サイクリングロードの活用及び拠点整備	吹上浜アスリーの森づくりプロジェクト
学習情報センターの整備	史と景と文化のまちづくりプロジェクト
農業後継者対策の推進	
特産品の販売施設建設等整備	
指定介護老人福祉施設の充実	いきいきすこやか拠点整備プロジェクト

## 第4節 吹上地域

### 【現状】

本地域は、吹上浜や吹上温泉、森林空間等豊富な自然環境に恵まれると同時に、鹿児島市南部と隣接する恵まれた立地環境にあります。黒川土器で有名な黒川洞穴をはじめ縄文以来の史跡が豊富で、戦国時代薩摩・大隅・日向の三州を統一した島津氏中興の地であるとともに、薩摩琵琶発祥の地でもあることから、歴史と文化を生かすまちづくりが進められています。また、県農業開発総合センターが立地しており、基幹産業である農業の発展が期待されています。さらに、スポーツによるまち興しにも取り組んでおり、県内でも有数のスポーツ合宿等の拠点となっています。

一方で、本地域は、吹上浜や吹上温泉等の観光資源はあるものの、その活用がまだ十分に図れていない状況です。

こうした中、本地域は次のような方向で地域振興を進めます。

### 【振興方向】

中心市街地の活性化と農村の持つゆとりの共生空間を生かした住環境の整備を進めるとともに、鹿児島市南部との道路・交通網を一層充実させ、本地域の特性を生かした定住促進を図ります。

県農業開発総合センターを核に、農業振興や農村交流のための拠点づくりを進め、農業・農村の活性化を図るとともに、関連産業の育成・誘致に努めます。

自然・歴史・文化・生活など他に誇れる豊かな資源を生かし、スポーツ施設や環境学習施設等の交流拠点の整備を進めるとともに、吹上温泉街の再整備を進め、都市住民等との交流を促進します。

### 【重点事業】

重点事業	関連する市創生プロジェクト
吹上温泉街の再開発整備	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト
森林空間を生かした林業体験・環境学習拠点の整備	環境にやさしいまち推進プロジェクト
吹上浜公園及びスポーツ交流拠点の整備と活用促進	吹上浜アスリートの森づくりプロジェクト
吹上漁港並びに特産品施設などの整備による水産業の振興	
さつま湖、正円池周辺や永吉ダム湖畔など水辺空間の整備	
伊作亀丸城、中島常楽院などの周辺整備による歴史を生かした地域づくり	史と景と文化のまちづくりプロジェクト
図書館施設を拠点に文化あふれ、ゆとりある空間を創出する市街地活性化及び環境整備	史と景と文化のまちづくりプロジェクト
農業・農村活性化支援センターの設立と食と農の総合交流拠点の整備	食と農の創造拠点整備プロジェクト

## 第3章 日置市創生プロジェクト

### 第1節 吹上浜\*アスリートの森づくりプロジェクト

吹上浜の雄大な自然を生かしたスポーツ交流の中核組織や拠点整備を進めるとともに、周辺環境や宿泊施設等の関連するサービス体制の充実を図り、吹上浜一帯が市民やスポーツ競技者等であふれるスポーツの森づくりを進めます。

#### 1 吹上浜スポーツ振興公社（仮称）の設立

吹上浜スポーツ振興公社（仮称）を設立し、スポーツ施設をはじめ、公園等の運営管理を行います。併せて、スポーツイベントの開催や大規模スポーツ大会の誘致など、スポーツ振興に係る各種事業を展開します。

#### 2 総合的なスポーツ交流拠点の整備

既存の施設を活用するとともに、サッカー、野球等の球技や陸上、クロスカン トリーなどの多様なスポーツができる総合的なスポーツ交流拠点を整備します。

#### 3 関連施設の整備充実

総合的なスポーツ交流拠点施設の整備とあわせ、\*クアハウスの温泉保養施設やスポーツリハビリテーション施設等、競技者ニーズに専門的に対応できる環境づくりを進めます。

また、宿泊機能については、吹上温泉街・湯之元温泉街の整備や国民保養センターの整備等や国民宿舎の改築等を進め、宿泊施設の充実を図るとともに、事業者と一体となって長期滞在のできるシステムを創設します。

#### 4 サイクリングステーションの整備

吹上浜サイクリングロードの整備をするるとともに、沿線に休憩機能や案内機能等を備えたサイクリングステーションを整備します。また、サイクリングロードと国道270号、各スポーツ施設を結ぶアクセス道路を整備します。

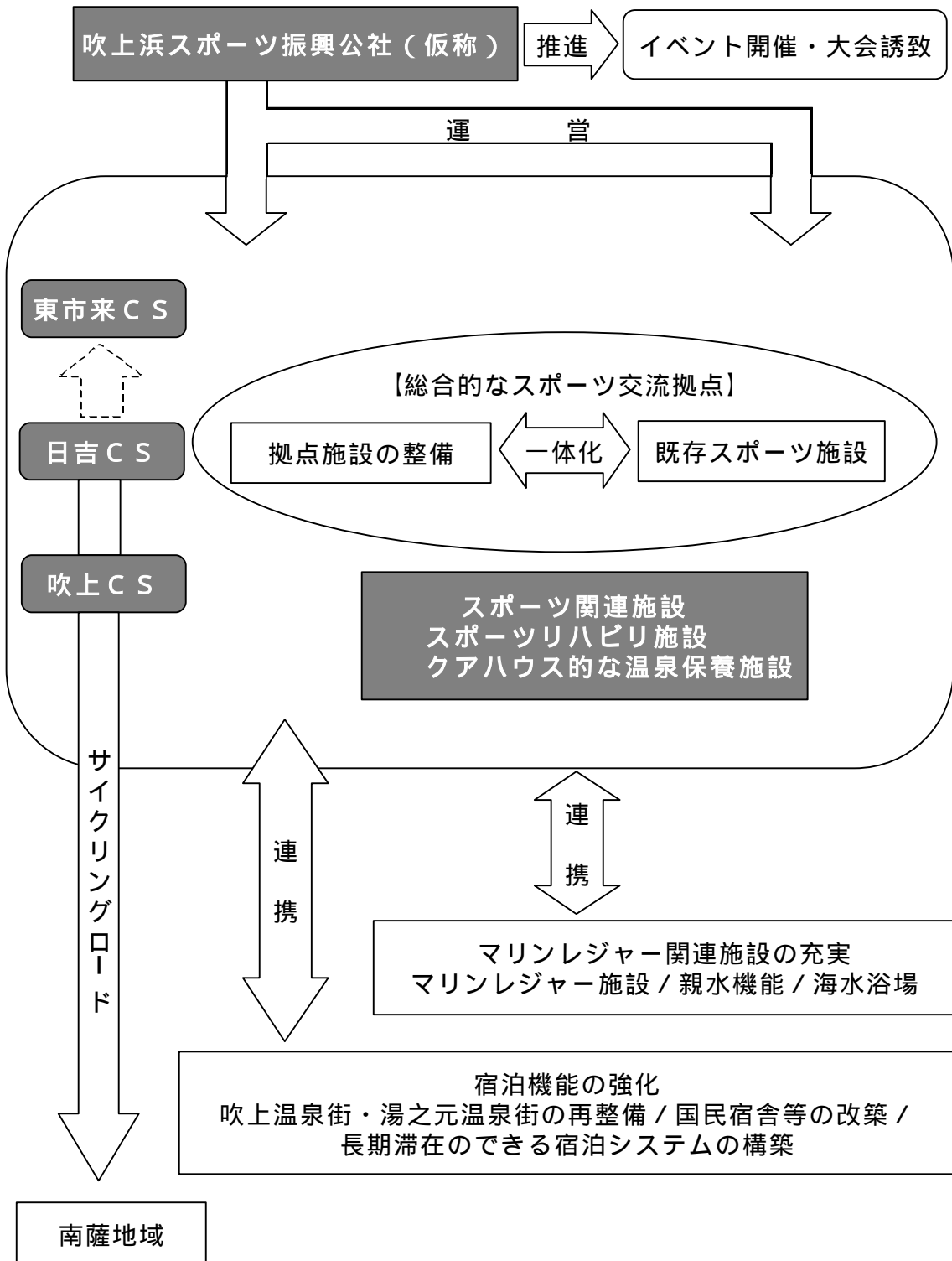
#### 5 マリンレジャー関連施設の充実

マリンレジャー関連施設などの整備を進めるとともに、海水浴場など、海に親しめる環境づくりを進めます。

\*アスリート 競技者、運動選手、スポーツマンの意。

\*クアハウス 保養と健康づくりのための科学的な温泉利用施設。入浴施設とスポーツ施設を備え、医学や生理学の専門家の指導により、個々の利用者に適したトレーニングを行う。

# 吹上浜アスリートの森づくりの展開イメージ



## 第2節 食と農の創造拠点整備プロジェクト

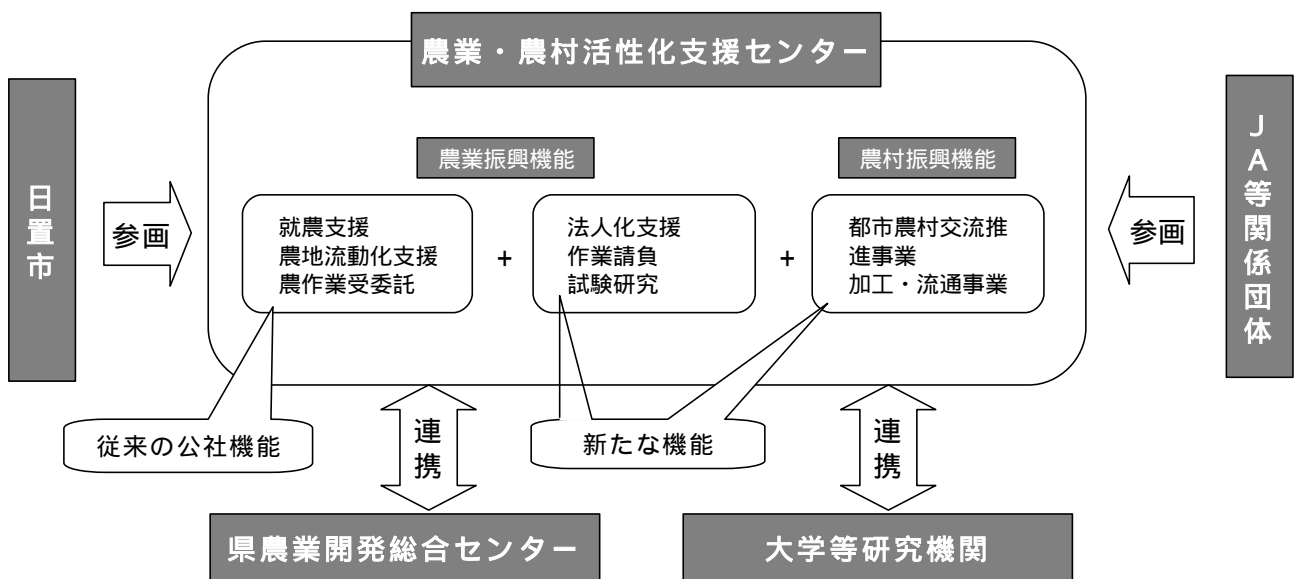
農業・農村活性化支援センターを設立し、農業振興や農村づくりを総合的に支援する体制づくりを進めるとともに、食と農を通じた総合的な交流拠点づくりを進め、都市農村交流の推進や食と農の情報発信、地域雇用の創出を図ります。

### 1 農業・農村活性化支援センターの設立

既存の農業公社の組織の充実を図るとともに、従来の就農支援や農作業受委託等に加え、法人化支援や作業請負、試験研究等についても、県農業開発総合センターや大学等の研究機関との連携を図りながら取り組み、農業振興を総合的に支援する機関へと機能を高めます。

また、都市農村交流事業や加工・流通事業についての取り組みも進め、農村の活性化や農村づくり活動を支援する中核的な役割を担います。

#### 農業・農村活性化支援センターの事業展開

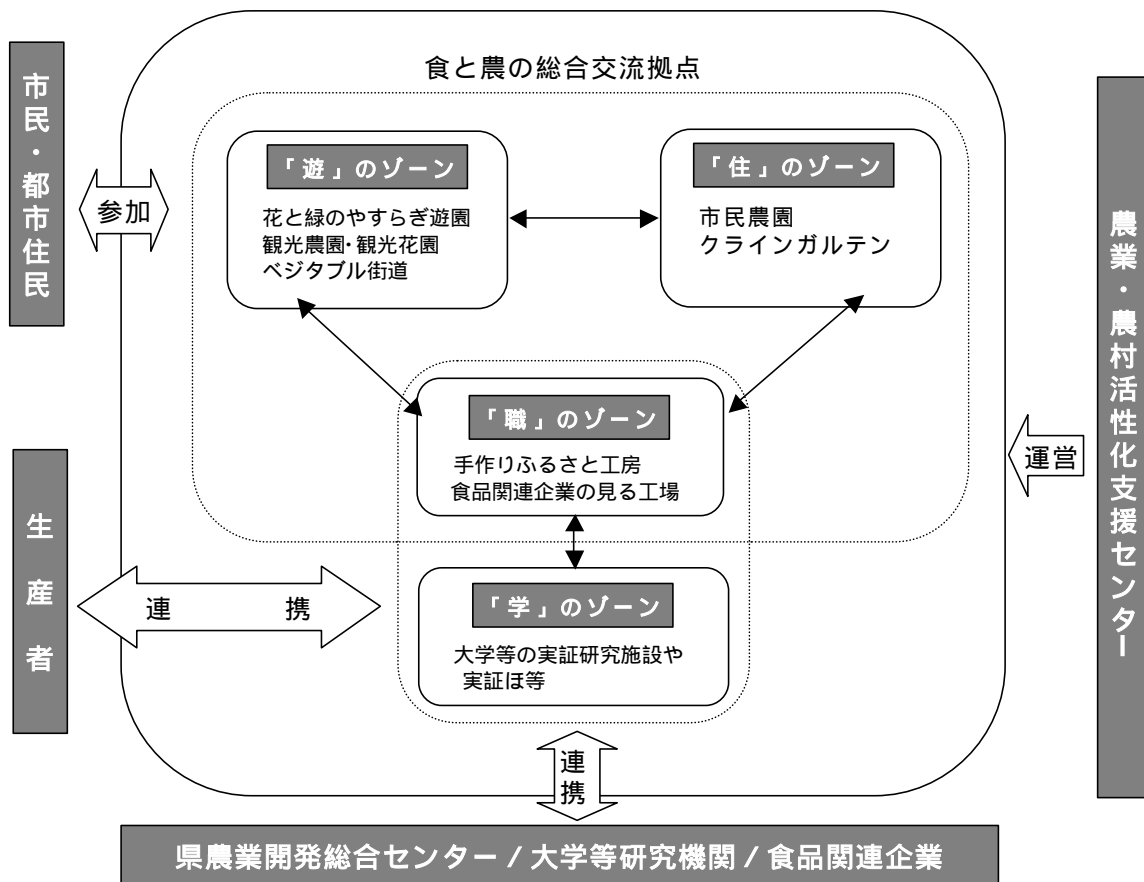


### 2 食と農の総合交流拠点の整備

県農業開発総合センターに隣接する地域をはじめ、市民や市外住民が農業にふれ、また生産者等と交流できる、食と農をテーマとする交流拠点づくりを進めます。併せて、食品関連産業の立地を促進するなどして、雇用の場づくりに努めるとともに、大学等が立地するエリアを確保し、農業に関する研究開発の場とすることで、生産者の技術向上を図ります。

<p style="text-align: center;"><b>「職」のゾーン</b></p> <p>地元の高齢者等が運営する「手作りふるさと工房」を整備するとともに、食品関連企業の誘致を進め、地元雇用の場を創設します。</p>	<p style="text-align: center;"><b>「住」のゾーン</b></p> <p>市民農園・貸し農園とあわせ、*<u>クラインガルテン</u>を整備し、都市住民等の長期滞在や半定住の拠点づくりを進め、将来の定住促進を図ります。</p>
<p style="text-align: center;"><b>「遊」のゾーン</b></p> <p>「花と緑のやすらぎ遊園」を整備するとともに、観光農園・観光花園や国道 270号等に農産物直売所を充実させ、ベジタブル（野菜）街道としてPRするなど都市住民等との交流を促進します。</p>	<p style="text-align: center;"><b>「学」のゾーン</b></p> <p>大学等の研究機関を誘致し、実証研究施設や実証ほ等を設置するとともに、これらの機関との産学官連携を進め、農業に関する研究開発の拠点づくりを進めます。</p>

### 食と農の総合交流拠点の整備イメージ



### 3 多様な生産主体の育成・誘致

農業構造改革特区の活用等により、株式会社等の参入を含めた多様な生産主体の育成・誘致を図ります。

\*クラインガルテン ドイツ語で小さな庭の意味。簡易宿泊施設のある滞在型市民農園。1区画ごとに休憩や簡易宿泊が可能な小屋（ラウベ）が設けられる。ドイツで19世紀前半に実施された失業救済事業の貸し農園が原型とされ、以後、都市住民の健康維持やレクリエーション、都市の緑化などを目的に普及・発展した。日本では1990年代初めから全国各地に誕生している。

## 第3節 史と景と文化のまちづくりプロジェクト

各地域に伝わる伝統芸能や伝統工芸など、豊富で多種多様な歴史・文化資源を未来へ伝承する仕組みを確立するとともに、市民や観光客等が「歴史文化のまち」を体験でき、実感できる史と景と文化のまちづくりを進めます。

### 1 歴史と文化の香り漂う街並みづくり

美山地区においては、伝統文化の趣が感じられる街並みづくりを進めるとともに、窯元等と一体となって作れる・見れる・味わえるなど、楽しく散策し、気軽に立ち寄れる「薩摩焼の里」づくりを進めます。併せて、主要観光地と美山地区を結ぶ循環バスの運行等による回遊性の向上を図ります。

また、妙円寺詣りの経路については、灯籠等を用いた街路整備を進め、歴史の風情が感じられ、歩いて楽しい道づくりを進めます。

さらに、温泉街を風情のある街並みとして整備を進めるとともに、伊作亀丸城周辺については、「日新公を顕彰する中世島津氏の歴史散策地」として整備を進めます。

### 2 伝統文化の伝承拠点の整備及び関連施設等との連携強化（エコミュージアム構想）

地域の代表的な伝統文化を常設で展示する伝承拠点施設を、学習施設等と一体的に整備し、伝統文化の継承の拠点として活用するとともに、観光や学習への活用を図ります。

また、展示品の相互利用や史跡等の案内板や解説などを充実させ、伝統文化の継承拠点と既存の学習施設や文化施設のほか史跡等の連携を強化し、地域全体を博物館と見立てる「エコミュージアム」構想として推進します。

### 3 歴史と伝統芸能等伝承活動支援の推進

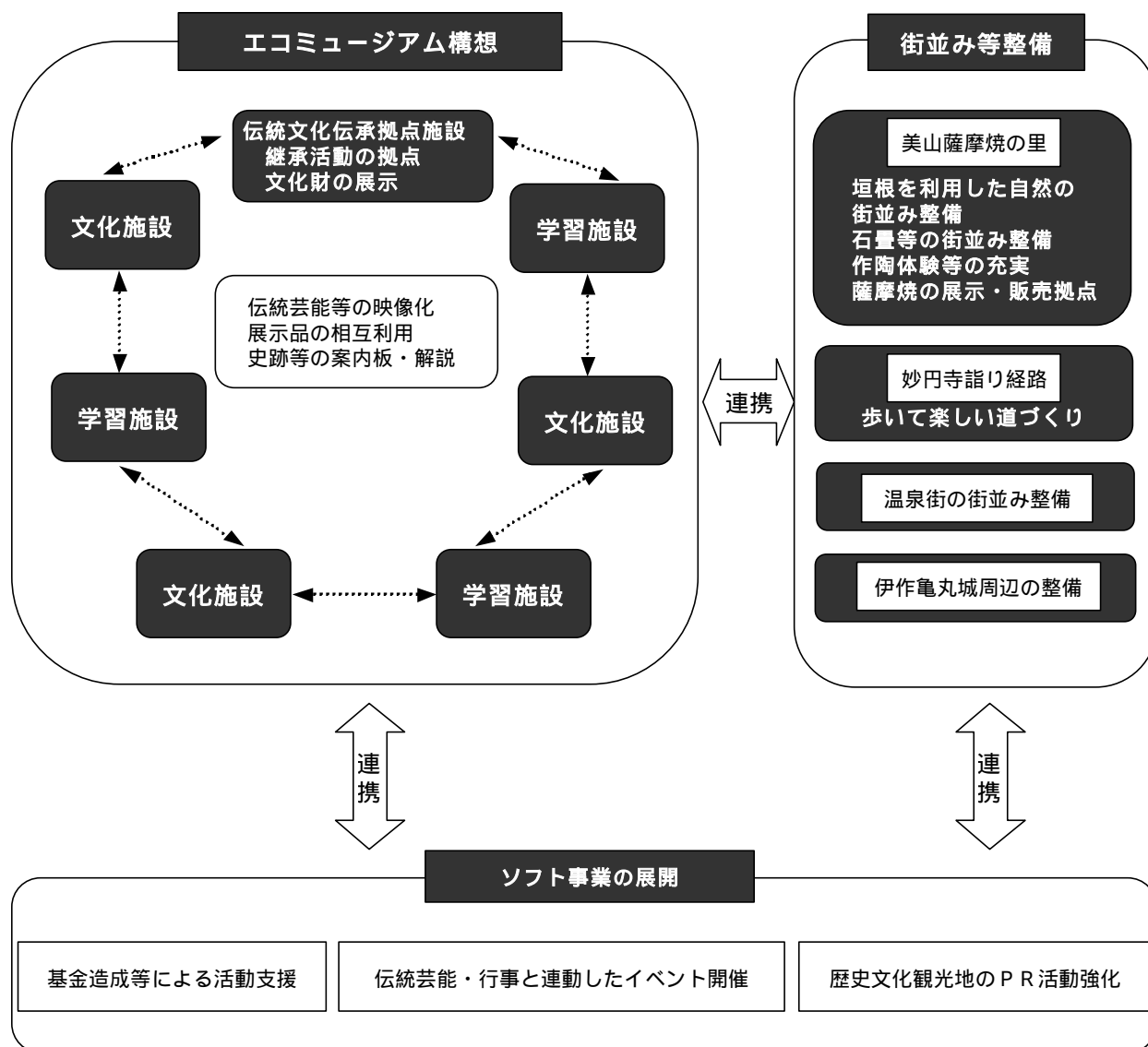
歴史文化の保全に係る基金造成等により、伝統芸能の保存・継承活動への支援を充実します。

また、流鏝馬、妙音十二楽、太鼓踊り、火振り、棒踊り、妙円寺詣り、せっぺとべ等の特色ある伝統芸能・伝統行事については、映像化による保存・継承を支援するとともに、各地域の文化施設・学習施設で紹介できる仕組みをつくり、本市が継承すべき伝統文化に対する市民意識の向上を図ります。

さらに、伝統芸能・伝統行事と一体となったイベント等を開催するとともに、歴史・文化・祭りを前面に打ち出した観光業者等との連携によるキャンペーンを展開することで、歴史と文化を生かした観光・交流を推進します。



## 歴史文化資源の伝承と活用に向けた取り組み



## 第4節 いきいきすこやか拠点整備プロジェクト

市民の保健・医療・福祉の総合拠点として、いきいきすこやかセンターを整備することにより、市民病院の機能強化に努めるとともに、各地域保健センターとのネットワークの形成を図ります。

### 1 いきいきすこやかセンターの整備

健康づくりや、介護予防・リハビリテーションの拠点機能を整備し、市民の保健・医療・福祉の総合拠点づくりを進めます。また、各地域保健センター、温泉施設等との連携を図りながら、現在の市民病院の機能を強化するなど、市民が様々な目的で利用できる環境づくりを進めます。

#### 健康づくり拠点機能

地域保健センターとしての中核的な機能を整備し、市民とともに積極的な健康づくりを進めます。

#### 地域医療機能

現在の市民病院については、整形外科等の診療科目を拡充するとともに、在宅医療を強化するなどして、地域医療の拠点としての整備を進めます。

#### 介護予防拠点機能

地域リハビリテーション機能を持ち、各関係機関等との連携をとりながら介護予防の拠点づくりを進めます。

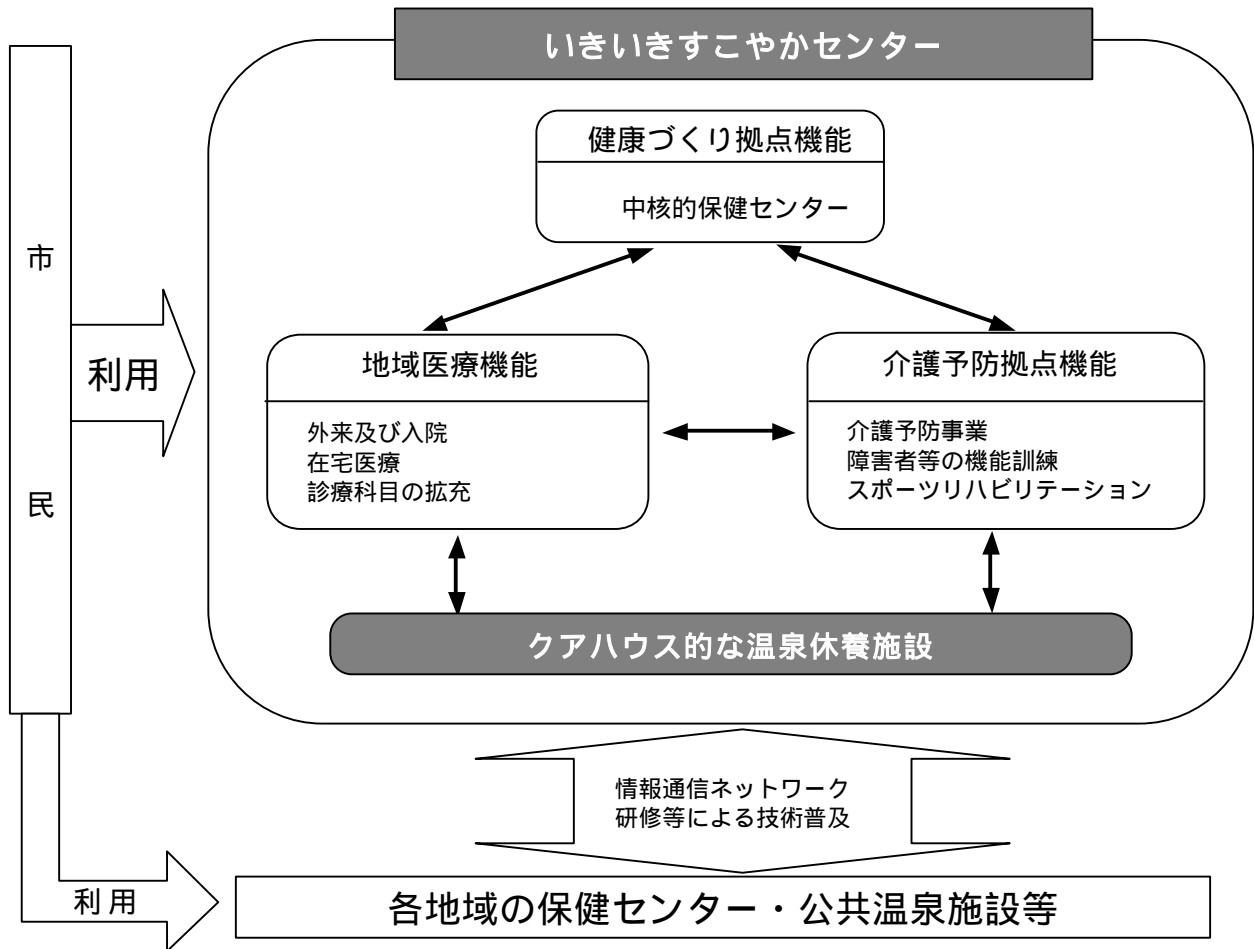
#### クアハウスの温泉休養施設の整備

クアハウスの温泉休養施設を整備し、高齢者だけでなく、幅広い市民の健康づくりの拠点として活用します。

### 2 地域保健センターとのネットワーク形成

いきいきすこやかセンターと地域保健センターを情報通信ネットワークで結び、各種情報の共有を図るとともに、いきいきすこやかセンターにおいて実施する介護・リハビリテーション・健康づくりの技術の普及を推進します。

# いきいきすこやかセンターの機能



## 第5節 情報化タウン推進プロジェクト

IT時代に対応できる情報通信基盤を整備するとともに、電子自治体の構築をはじめ、情報教育や企業の情報化支援などを進め、市民生活の利便性の向上や産業振興を図ります。

### 1 電子自治体の構築

行政において、各種情報システムを統一するとともに、公共施設間の情報通信ネットワーク整備を進め、電子自治体の基礎を築きます。

また、各種地図情報、各種手続き等の電子化などにより、行政事務の迅速化や庁内での情報の共有等を図るとともに、郵便局など公共性の高い機関等との通信ネットワークを整備し、行政情報の迅速な提供と住民生活の利便性の向上を図ります。

さらに、市民と双方向で情報交換ができるシステムを構築し、市民のまちづくりに対する意見聴取や各種相談の機会の拡充を図ります。

### 2 地域情報化

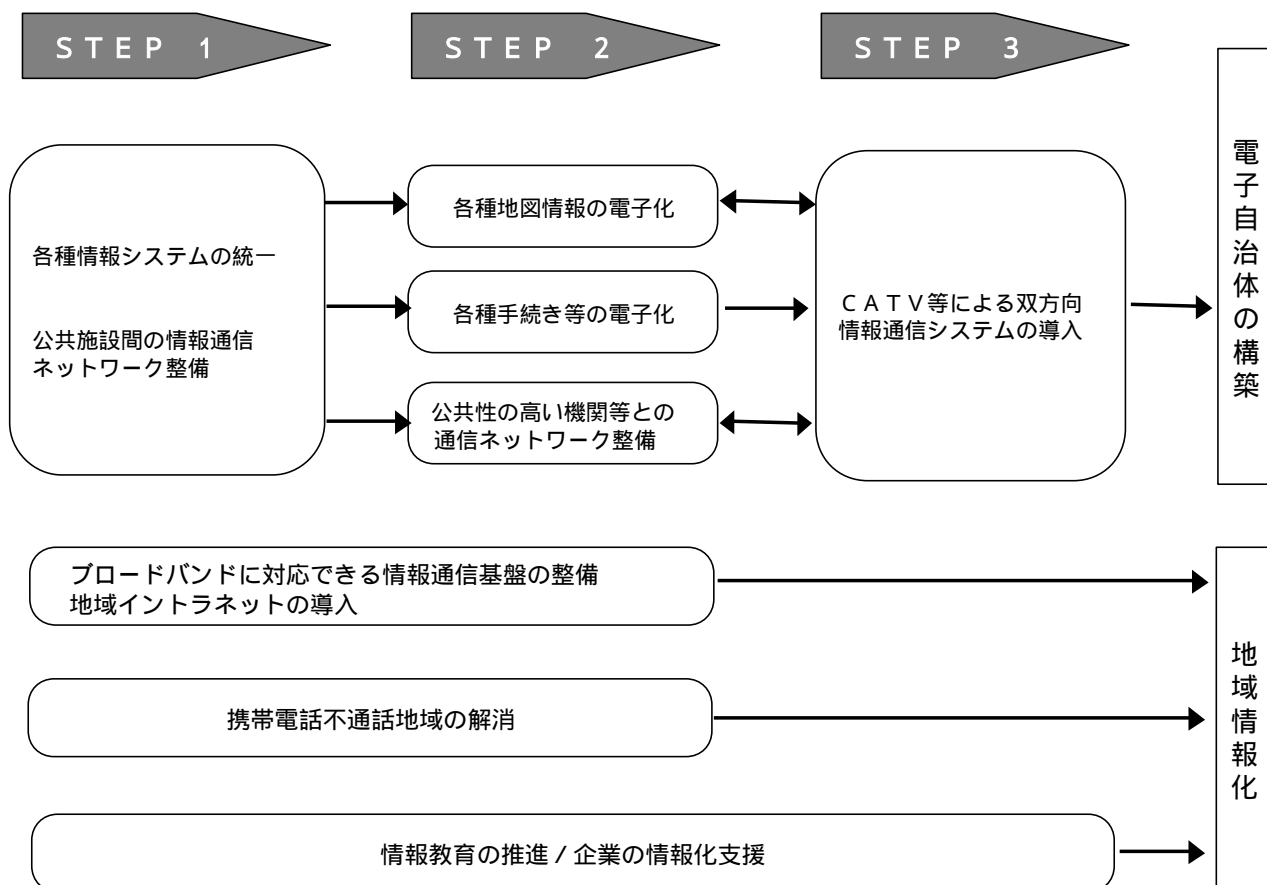
携帯電話の不通話地域の解消を促進し、市内一円における情報通信格差を是正します。

また、\*地域イントラネットの導入などにより、\*ブロードバンドに対応できる情報通信基盤を整備するとともに、市民だれもが情報化社会の利便性を享受できるように、学校教育や生涯学習における情報教育を推進します。併せて、ネットワーク上での経済取引や創造性豊かな産業活動を促進するため、情報通信技術の導入に関する啓発・普及・研修等や融資制度等の情報提供など、企業の情報化を促進します。

**\*地域イントラネット** インターネットや通信回線を使って、特定のエリア内でネットワークを構築し、情報の共有化などをおこなうことを目的としたシステムのこと。

**\*ブロードバンド** データ伝送の分野において、広帯域のこと。狭義には、複数の信号を同一の伝送路（ケーブルなど）で送る方式で、近年は、単に高速度で大容量のデータ転送のことを指すことが多い。動画の伝送など、ネットワーク上の高度なサービスを実現するもの。

## 情報化タウン推進プロジェクトの流れ



## 第6節 環境にやさしいまち推進プロジェクト

吹上浜の環境保全に一体的に取り組むとともに、ごみのリサイクル、新エネルギー設備等の導入、環境学習拠点施設づくりを推進し、環境にやさしいまちづくりを進めます。

### 1 吹上浜県立自然公園区域及び周辺海域の一体的保全の推進

吹上浜県立自然公園区域については、市民一体となった清掃活動に取り組み、環境負荷の低減を図ります。また、生活排水について、各地域の実情に応じた効率的な処理手法の導入を選定するとともに、家畜排せつ物処理の適正化等の強化、水源かん養林の育成等により、総合的な河川・海岸・海域の浄化を推進します。

### 2 市民一体となったごみのリサイクルの推進

ごみの分別・収集・処理体系を統一し、より一層のリサイクルを推進します。また、ごみの減量化を推進するため、ごみ分別指導員への支援を強化するとともに、各家庭における生ごみの堆肥化等を促進します。

### 3 新エネルギー・省エネルギー導入の推進

地球温暖化を防止するため、公共施設等を中心として太陽光発電や風力発電など新エネルギーの導入に努めるとともに、教育面や観光面での活用を推進するほか、公用車のクリーンエネルギー車への転換を推進します。

また、家庭や事業所等と一体となって新エネルギー・省エネルギーの導入や普及啓発を推進し、太陽光発電やクリーンエネルギー自動車など個人における新エネルギー等の導入に対して助成措置を検討します。

### 4 森林空間を活用した林業体験・環境学習の推進

森林地域を活用し、林業体験・環境学習の機能を持つ拠点整備を進め、青少年育成や都市農村交流の場としての活用を図ります。

## 環境にやさしいまち推進プロジェクトの流れ

